

リアホナ

開拓者の受け継ぎ——
心の^{いかり}錨となる希望, 14ページ

全てが失われたわけではない——
預言者ジョセフの人生から学べること, 20ページ

邪悪な世の中で正しく生きるには, 26ページ

神殿に備える, 56, 76, 78, 79ページ



「それで、わたしのこれらの言葉を聞いて行うものを、岩の上に自分の家を建てた賢い人に比べることができよう。

雨が降り、洪水が押し寄せ、風が吹いてその家に打ちつけても、倒れることはない。岩を土台としているからである。」

マタイ7:24-25



メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
すべては善し
ディーター・F・ウークトドルフ管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
イエス・キリストの神聖な特質
——赦しと憐れみの心

特集

- 14 開拓者——現代のための錨
マーカス・B・ナッシュ長老
開拓者の精神がどのように今日のわたしたちの「錨」となるのかを学びましょう。
- 20 モルモン書の出現
マシュー・S・ホランド
ジョセフ・スミスがそうであったように、神の御手の力強い道具となるために、完全な生活を送る必要はありません。
- 26 義の報いを刈り取る
クエンティン・L・クック長老
どうすれば家族の中で義の報いを享受することができるでしょうか。
- 34 宗教と政府
ウィルフォード・W・アンダーセン長老
末日聖徒はどこに住んでいても、善良な市民になる責任があります。

シリーズ

- 8 2015年4月の大会ノート
- 10 わたしたちが信じていること——
教会の組織は神から与えられた
- 12 教会のニュース
- 38 末日聖徒の声
- 80 また会う日まで——
子羊と羊飼について
ジェームズ・E・ファウスト管長

表紙

表紙——イラスト/ダン・バー
表紙裏——写真/ロビー・ジョージ
/ National Geographic Creative
裏表紙裏——写真/リチャード・M・ロムニー

46



42 活気と活力に満ちて

ランドール・A・ライト

この習慣を生活で実践し、さらなる健康と活力、優れた霊性を身につけましょう。

46 ハンガリーの頑丈な柱

マッケル・ジョージ

イエス・キリストの福音はハンガリーのヤングアダルトに、希望と信仰、強さをもたらします。

今月号の中に
隠れている
リアホナを
さがしましょう。
ヒント——
「神殿に
行きたいな……」



48 イエス・キリスト——平和の君

ラッセル・M・ネルソン長老

真の永続する平安の唯一の源はイエス・キリストです。

51 そこが知りたい

52 メルキゼデク神権を受ける用意はできていますか

神権の誓詞と聖約についてもっと学びましょう。

56 主の宮に参入する備え

ケント・F・リチャーズ長老

霊的に成熟するにつれ、神殿に備え、神殿に参入したいという望みも大きくなるでしょう。

60 赦す方法を見いだす

ポニー・ブラウン

その傷の痛みを忘れるのが不可能に思えるとき、どのようにして赦すことができるのでしょうか。

62 ポスター——光を道にまけ

63 わたしと音楽

サブリーナ・デ・ソーザ・ティシエイラ

わたしは才能を分かち合うことに対する恐れを克服しました。



66

64 友達に話すように
神様に話しました

フアン・A・ウセダ長老

天のお父様はあなたの一番の友達になってくださいます。いのると、お父様は聞いてくださいます。

66 アナの旅

ジェシカ・ラーセン

アナがアメリカに着いたとき、アナの知っている人や、アナの言葉を話せる人はだれもいませんでした。そのときアナは、祈るようというお母さんの言葉を思い出しました。

70 天のお父様は
祈りにこたえてくださいます

ジョージ・R

ぼくは、だんじきといのりでいとこを助けることができると知っていました。

71 音楽——われに來よ

ジョン・ニコルソン、
サミュエル・マクバーニー

72 聖文の時間——タラントのたとえ

ジーン・ビンガム

74 わたしたちのページ

75 神殿カード

76 神殿ではどんなことをしますか

キャロライン・コルトン

78 いつの日か行こう

メアリー・N

わたしは神殿に行くための準備をしました。

79 特別な証人——

神殿の中はどのようなところ
なのでしょう

ニール・L・アンダーセン長老

48

家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に二つの例を挙げます。



「モルモン書の出現」20 ページ——
ジョセフ・スミスは弱さがあつたにもかかわらず、救い主に従おうと努力したために主の手に使われる者となりました。わたしたちも、自らを改めさらにイエス・キリストに似た者となろうと努力するとき、主の手に使われる者となることができます。よく祈りながら個人の目標や家族の目標を決めるとよいでしょう。家族一人一人の長所や才能について話し合い、目標を達成できるよう助け合うために、それぞれの長所をどのように使うことができるか話し合うとよいでしょう。預言者ジョセフ・スミスのよう

に主の業を進めるために自分の長所を使うにはどうすればよいか話し合います。

「アナの旅」66 ページ——家族で家族歴史のストーリーを見つけ、保存できるよう助けます。祖父母に話を聞く計画を立てたり、家族の日記などの資料を読んだり、FamilySearch.org を閲覧したりするとよいでしょう。次の家庭の夕べで、ストーリーを分かち合い、先祖のどのような点がヒーローだと言えるかを話し合います。ストーリーはFamilySearch.orgの「思い出」のセクションに追加するとよいでしょう。

あなたの言語で

languages.lds.org で、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

あわれみ, 7, 20	啓示, 42	神殿, 56, 75, 76, 78, 79
イエス・キリスト, 43	健康, 42	政府, 34
一致, 14	幸福, 26	聖文, 20, 40
祈り, 64, 66, 70	才能, 63, 72	断食, 70
改宗・改心, 39	宗教, 34	繁栄, 26
開拓者, 4, 14, 66	正直, 38	平安, 26, 40, 48
家族, 26, 64, 66	ジョセフ・スミス, 20	ホームティーチング, 51, 80
家庭訪問, 80	訓練, 20, 40, 66, 70	モルモン書, 20
義, 26	神権, 52	教し, 7, 51, 60
希望, 14, 46	信仰, 14, 20, 38, 40, 41, 63,	宗親主義, 4
教会組織, 10	66, 70	労働, 4



大管長会第二顧問
ディーター・F・
ウークトドルフ管長

すべては 善し

開拓者からの受け継ぎについて考えるとき、わたしの心に最も大きな感動を呼び覚ますものの一つは、賛美歌「恐れず来たれ、聖徒」です（『賛美歌』17）。ソルトレーク盆地までの長い旅の間、人々はよくこの賛美歌を歌いました。

聖徒たちにとって「すべては善し」と言えるような状況でなかったことは、わたしもよく承知しています。彼らは病や暑さ、疲れ、寒さ、恐れ、空腹、苦痛、疑い、そして時には死にも見舞われました。

「すべては善くない」と叫んでも不思議でなかったにもかかわらず、彼らは今日のわたしたちが称賛せずにはいられない態度を養いました。彼らは目の前の問題の先にある永遠の祝福を見据えていました。自分たちが置かれた状況に感謝していました。賛美歌の歌詞とは反対の状況を目の当たりにしながらも、心からの確信を込めて「すべては善し」と歌ったのです。

開拓者をどれだけたたえなくても、それによって自分自身を省みないならば、その称賛は空しいものになってしまいます。彼らの犠牲と決意を思い巡らすとき、わたしは彼らの示した特質に靈感を受けます。その幾つかを紹介しましょう。

思いやり

開拓者たちはそれぞれが置かれた社会的、経済的、政治的な立場に関係なく、互いに思いやりを示しました。進むのが遅れても、面倒なことが生じても、個人的な犠牲や苦勞を

強いられることになっても、互いに助け合いました。

目標達成のためにしのぎを削る競争社会のこの世にあっては、互いの世話をし神の王国を強めることよりも、個人やグループの目標を達成することが優先されがちです。今日の社会では、一定の観念的な目標を達成することが個人の価値を決める基準であるかのように思えるかもしれません。

目標を立てて達成することはすばらしいことです。しかし、人々をないがしろにしたり、無視したり、傷つけたりすることでその目標が達成できたとしたら、その成功の代償はあまりに大きいと言えるでしょう。

開拓者たちは隊の仲間の面倒をみただけでなく、後から続く人々のことも考えて、後続の幌馬車隊のために穀物を植えて進んだのです。

彼らは家族や友人の持つ力を知っていました。互いに頼り合うことで強められたのです。友は家族になりました。

開拓者は、どうしてわたしたちが人から距離を置きたいという誘惑を断ち切り、思いやりをもって手を差し伸べて助け合わなければならないかを思い起こさせてくれます。

労働

「恐れず来たれ、聖徒 進み行けよ」

疲れ果てた旅人にとって、この歌詞は応援歌となりました。偉大な霊を持った彼らがどれほど懸命に働いたかを想像するのは容易ではありません。歩くことは、彼らが行った中で最もたやすいことでした。力を合わせて食糧を手に



入れ、馬車や手車を修理し、動物の世話をし、病人や弱った人々を祝福し、水を探してくみ、迫りくる自然の脅威や荒れ野での数々の危険から自分たちの身を守ったのです。

彼らは毎朝、全ての人が理解していたはっきりとした目的と目標をもって目覚めました。それは、神と同胞^{ほらから}に仕え、ソルトレーク盆地に到着することでした。この目的と目標を毎日はっきりと思い描いていた彼らは、何をすることがあるか、日々の歩みがいかに重要であるかを知っていました。

欲しいものがあまりにも容易に手に入る現代にあっては、目の前の道がでこぼこしていたり、急な坂道であったりするたびに、道をそれ、あきらめようという誘惑に駆られます。そのようなとき、病気や試練、苦痛、死にあっても、自分の選んだ道からそれることのなかった男女や子供たちを思い起こせば、霊が鼓舞されるかもしれません。

開拓者たちは、難しいことに取り組むことによって体も思いも霊も深められ、強められ、そして神から与えられた特質をさらによく理解し、人々への思いやりを増し加えられたことを知りました。このような行いを続けることで、彼らの魂は堅固になり、大平原を渡り山々を越える旅が終わった後も長きにわたって祝福を受けたのです。

楽観主義

開拓者は賛美歌の中で、この3つ目の態度を示し、「無益な憂いは払いて努めよ されば喜ばん」と歌いました。

現代の最大の皮肉の一つは、これほど多くの恵みを受けているにもかかわらず、非常に不幸であると感じてしまうことです。繁栄と技術の進歩は人を圧倒し、この世は安全や娯楽、瞬時に得られる満足や便利さであふれています。しかし、わたしたちは周囲で実に多くの不幸を目にしています。

多くの犠牲を払った開拓者は、生き延びるために必要な、きわめて基本的な物にも事欠き、それらを切望していました。幸福が、運や偶然によって得られるものではないことを理解していました。幸福が、自分の望みがすべてかなうことで得られるものではないことは確かです。幸福は、周りの状況によって得られるものでもありません。幸福とは、周りで何が起これようとも、自分の内から湧き上がるものです。

開拓者たちはそれを知っていました。そして、そのような思いを抱くことによって、あらゆる状況、あらゆる試練^{あかし}にあっても、また試練の中で気持ちが最も深い淵に沈んでも、幸福を見いだしたのです。

試練

わたしたちは開拓者が堪え忍んだ状況を振り返り、「あの時代に住んでいなくてよかった」と胸をなでおろすことがあります。しかし、勇敢な開拓者が今日のわたしたちの様子

このメッセージから教える

訪 問先の家族とともに「恐れず来たれ、聖徒」(『賛美歌』17)を歌ってホームティーチングを始めてもよいでしょう。あなた自身や知人が思いやりや労働、楽観主義の原則を実践して得られた経験を紹介してもよいでしょう。促しを感じたら、ここで紹介された原則に従って生活することで得られる祝福^{あかし}について、訪問先の家族もそのような祝福を得られることを伝えてもよいでしょう。

を見ることができたとしたら、同じ思いを抱くのではないで
しょうか。

時代や状況は変わっても、試練に立ち向かい、神の共同
体として思いやりを示し繁栄を享受しながらともに幸福に
生きるための原則は変わっていません。

わたしたちたちは開拓者から、信仰を持ち、神を信頼する
ことを学べます。人への思いやりを学べます。勤勉に働け
ば物質的にも霊的にも祝福を受けることを学べます。どの

青少年

記録をつける

ウークトドルフ管長は、わたしたちの時代と開拓者の時代を
比較して語っています。皆さんは大平原を渡ったことはない
かもしれませんが、皆さんは自分が考える以上に開拓者と似てい
ます。皆さんも思いやりや熱心な働き、楽観的な考えを示す
ことができます。開拓者の日記から、彼らがこのような特質
を持っていたことが分かるように、あなたの子孫も、あなたの
日記を通してあなたのことを知ることができるのです。

2, 3分でよいので、日記に自分のことを少し書いてみてくだ
さい。どのように証を得たか、天の御父の助けによって試練を
乗り越えたかなど、霊的な事柄を書くことができますし、(いつ
かあなたの日記を読むかもしれない) 玄孫に、あなたが毎日
どんな生活を送っていたかを伝えることもできます。学校で
どんなことに取り組んでいますか。あなたの部屋はどんな
部屋ですか。家族の思い出の中で大好きなものは何ですか。

毎日少しずつ書き始めるなら、天の御父が開拓者をお助けに
なったように、毎日の生活でどのようにあなたを助けてくださ
っているかをもっとはっきりと理解できるだけでなく、将来の
あなたの子孫のために受け継ぎを残すことができるでしょう。

ような状況にあっても幸福でいられることを学べます。

開拓者に対して敬意と感謝を示す最善の方法は、開拓者
がその生活の中で示した模範を自分の生活に取り入れるこ
とです。その模範とは、神の戒めに対する忠実さ、同胞に対
する愛と思いやり、勤勉さ、楽観主義、そして喜びです。

そうするときに、わたしたちは年月を超え、気高い開拓者
の手を取り、彼らと声を合わせて「すべては善し」と歌うこ
とができるのです。■

子ども

かいたくしゃの もはんに したがう

ウークトドルフ管長は、かいたくしゃが 天の お父さまに
あいをしめた いくつかの ほうほうを しょうかい
しています。みなさんも かいたくしゃの もはんに したがう
ことができ。ここに いくつかの アイデアが しょうかい
されているので、みなさんも はじめてみてください。

おも 思いやり

- かなしんでいる 友だちのために、やさしい
ことばを メモに 書いて わたしたり、おかし
を 作ってあげたりする。
- クラスの 友だちの しゅくだいを たすけて
あげる。

どりよく

- もくひょうを 立てる。その もくひょうを
はたすために、今月 毎日 何か する。
- お父さんや お母さんが 夕ごはんを つくの
を 手つだう。

まえ 前むきな 気持ち

- 生活の 中で しあわせに かんじることを
10こ 書き出す。
- 会う 人 みんなに っこりする。

祈りをもってこの資料を学び、何を伝えるべきか分かるよう祈り求めてください。
救い主の生涯と役割が理解できるようになると、救い主を信じるあなたの信仰はどれほど増し、
家庭訪問を通してあなたが見守っている姉妹にどれほど祝福が注がれるでしょうか。
詳しくは www.lds.org/callings/relief-society?lang=jpn をご覧ください。

イエス・キリストの 神聖な特質—— ゆるあわ 赦しと憐れみの心

本記事は、救い主の神聖な特質に焦点を当てた家庭訪問メッセージシリーズの一環です。

イエス・キリストがわたしたちを赦し、深い憐れみを抱いてくださっていることを理解することにより、わたしたちも人を赦し、憐れみを示すことができます。「イエス・キリストはわたしたちの模範であります。主の生涯は愛の遺産です。主は病める者を癒やし、虐げられた者を抱き上げ、罪人を救われました。最後には、怒った群衆が主の命を取りました。それでもなお、ゴルゴタの丘から次の御言葉が聞こえてきます。『父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです。』¹

わたしたちが人の過ちを赦すならば、天の御父もわたしたちを赦してください。イエスはわたしたちに、「あなたがたの父なる神が慈悲深いように、あなたがたも慈悲深い者とな[る]」よう求めておられます(ルカ6:36)。大管長会第二顧問のディーター・F・ワークトドルフ



管長はこう述べています。「わたしたちの罪の赦しは条件付きです。悔い改めが必要で[す]。……わたしたちは皆、憐れみの御座に謙虚に近づき、恵みを請うたことがしばしばあるのではないのでしょうか。自分が犯した過ちと罪を赦されようと、あらゆる力を尽くして憐れみを願ったことがあるのではないのでしょうか。……キリストの贖罪によって心を変えられ、また癒やされるようにしてください。互いに愛し合い、赦し合ってください。」²

その他の聖句

マタイ6:14-15; ルカ6:36-37;
アルマ34:14-16

注

1. トーマス・S・モンソン「愛——福音の真髄」『リアホナ』2014年5月号, 91
2. ディーター・F・ワークトドルフ「憐れみ深い人たちは憐れみを受ける」『リアホナ』2012年5月号, 70, 75, 77 参照, 強調付加
3. ジェフリー・R・ホルランド「王国にかかわる平和をもたらす事柄」『聖徒の道』1997年1月号, 96



信仰・家族・扶助

聖文から

十二使徒定員会のジェフリー・R・ホルランド長老は、「自分が赦されたように他の人も赦す」べきだと述べています。³ 放蕩息子^{ほうとう}の話は、赦す側と赦される側の双方について述べています。一人の息子は父から赦され、もう一人の息子は弟をなかなか赦せませんでした。

下の息子は、もらった遺産をさっさと使い果たし、飢饉^{きん}が起ると豚を飼う仕事をしました。聖文には「彼は本心に立ちかえって」家に帰り、自分は息子と呼ばれる資格はない、と父に言ったと記されています。しかし、父は彼を赦し、祝宴のために肥えた子牛をほふりました。畑の仕事を終えて帰宅した上の息子は怒りました。兄は父に、自分は何年も父に仕えて、父の言いつけに背いたことは一度もなかったのに、「友だちと楽しむために子やぎ一匹も下さったことはありません」と言いました。すると父はこう答えました。「あなたはいつもわたしと一緒にいるし、またわたしのものは全部あなたのものだ。しかし、このあなたの弟は、死んでいたのに生き返り、いなくなっていたのに見つかったのだから、喜び祝うのはあたりまえである。」(ルカ15:11-32 参照)

考えてみましょう

人を赦すことにより、赦す人にどのような恩恵がもたらされるでしょうか。

2015年4月の大会ノート

「主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであ〔る。〕……
わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。」
(教義と聖約1:38)

2015年4月の総大会を復習する際に、このページ(および今後の「大会ノート」)を使って、
生ける預言者と使徒、他の教会指導者の最近の教えを学び、生活に取り入れることができます。

教義的な重要点



信教の自由の 隅石

「この終わりの時に靈的に自由に生きるうえで理解しておくべきなのは、
選択の自由を忠実に用いるには信教の自由が不可欠であるということです。……

わたしたちには、末日聖徒として頼り、守るべき信教の自由の4つの隅石があります。

第1の隅石は、信じる自由です。何人も、神について信じていることのために個人や政府から批判や迫害や攻撃を受けるべきではありません。……

第2の隅石は、自分の信仰や信条を人に伝える自由です。……

第3の隅石は、宗教団体や教会を結成する自由と、他の人々と争うことなく礼拝する自由です。……

第4の隅石は、信仰に生きる自由、つまり家庭や礼拝所だけでなく公の場でも信仰を行使する自由です。」

十二使徒定員会 ロバート・D・ヘイルズ長老
「選択の自由を保ち、信教の自由を守る」
『リアホナ』2015年5月号, 112

預言者の約束



神殿の祝福を理解する

「神殿に行くときに、神殿で交わす聖約を思い起こすときに、わたしたちは誘惑に打ち勝ち、試練を堪え忍ぶことができます。神殿で平安を見いだすことができるのです。

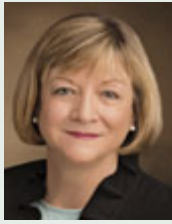
神殿の祝福はこの上なく貴重なものです。わたしが自分の人生で毎日感謝している祝福は、愛する妻フランシスとともに神殿の聖壇でひざまずき、二人を永遠につながり合わせる聖約を交わしたという祝福です。わたしにとって、彼女と再び一緒になれるとい

う知識から受ける平安と慰めほど貴重な祝福はありません。

天の御父の祝福により、わたしたちが神殿での礼拝に対する特別な精神を持つことができますように。また、わたしたちが御父の戒めに従順であり、わたしたちの主、救い主、イエスキリストの足跡を注意深くたどることができますように。」

トーマス・S・モンソン大管長
「神殿の祝福」
『リアホナ』2015年5月号, 93

「家族 —— 世界への宣言」



「宣言で教えられている原則のうち、特に固く擁護する必要があると思う原則が3つあります。……大胆に立ち上がり、結婚や親の務め、家庭を擁護することによって神の王国を築く手助けをしましょう。主はわたしたちが、勇敢で揺らぐことのない確固とした戦士として主の計画を擁護し、次の世代に主の真理を教えるよう求めておられるのです。」

中央若い女性会長 ポニー・L・オスカーソン
「家族の宣言の擁護者」
『リアホナ』2015年4月号, 15, 17

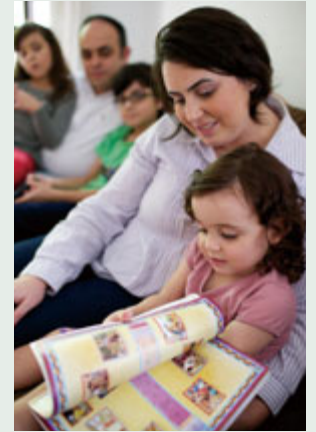
2015年4月の大会の中央女性部会から、結婚や家族に関する他の記事を読みたい場合は、8ページのチェリル・A・エスプリン「家庭を光と真理で満たす」、11ページのキャロル・M・スティーブンス「神様からの家族」を参照してください。



1. 男女間の結婚についての原則。



2. 母親と父親の役割を尊ぶという原則。



3. 家庭は神聖な場であるという原則。



大会で話されたすばらしい物語

すばらしい物語よりもわたしたちの注意を引くものなどあるでしょうか。大会中に話された多くの説教のうちから以下に3つを紹介します。

- 種まきのたとえに当てはめると、あなたはどの種類の土でしょうか。そのことを認識することで、あなたの人生はどのように変わるでしょうか。——ダリン・H・オクス「種まきのたとえ」32ページを参照
- どのような苦しい経験が、ある若い母親がイエス・キリストの福音に立ち返る助けとなったでしょうか。——ローズマリー・M・ウィクソム「信仰に立ち返る」93ページを参照
- 切り立った渓谷の崖で孤立した二人の兄弟の劇的な話は、イエス・キリストの贖罪への理解をどのように深めてくれるでしょうか。——ジェフリー・R・ホランド「^{あわ}憐れみと愛の神の恵み」104ページを参照

総大会の説教を読んだり、見たり、聴いたりするには、

lds.org/general-conference?lang=jpn にアクセスしてください。

教会の組織は 神から与えられた

教会に入ったばかりの会員は、それまで聞いたことのない言葉を耳にすることがよくあります。神権の鍵、聖任、^{あんしゅ}按手、死者のためのバプテスマ、ミューチャル、扶助協会などです。また、執事、祝福師、ビショップ、顧問、^{せいざん}聖餐、^{あかし}召し、^{あかし}解任、証、儀式など、聞いたことのある言葉が特別な意味で使われるのを耳にします。そのような言葉は他にもたくさんあります。

あなたがそんな状況にあるとしても、心配しないでください。教会に出席し、聖文やレッスンの資料を読み、教会員と交流を深めていくうちに、だんだん分かるようになります。それまで

使徒たちと預言者たちという土台

「あなたがたは、もはや異国人でも宿り人でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者であり、神の家族なのである。

またあなたがたは、使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられたものであって、キリスト・イエスご自身が隅のかしら石である。」

エペソ 2 : 19 - 20

は、遠慮せずにワードや支部の会員に尋ねてください。あなたにとって腑に落ちないことを何でも喜んで説明してくれるでしょう。

そのような言葉が大切なのは、聖文や近代の預言者への啓示によって定められた教会の教義や方針、慣例、組織を示しているためです。

救い主は今日、大管長会（教会の大管長と二人の顧問）と十二使徒定員会に御心^{みこころ}を示すことによって御自身の教会を導いておられます。

今日の教会の組織は、主が地上におられたときに組織されたものと本質的に変わりありません（信仰簡条 1 : 6 参照）。

聖書の時代と同じように、わたしたちには預言者、使徒、七十人、二人一組で奉仕する宣教師のほか、ビショップなどの地元レベルの指導者がいます。

教会で奉仕する人は皆、ボランティアです。彼らは皆、靈感を受けた指導者により召されて（奉仕するよう依頼されて）いるのです。

時が来れば、あなたにも召し（奉仕する責任と機会）が与えられるでしょう。喜んでそれを受け、全力を尽くして果たすならば、主は御自身の子供たちに仕えるあなたの努力を祝福してください。どのような事情があろうと、あなたは貴重な^{たまもの}霊の賜物を使って貢献することができます。

教会員であるあなたはキリストの「からだ」の一部なのです（1コリント 12 章参照）。あなたの貢献は、教会がその役割を果たすうえでとても大切です。■

詳しくは、モロナイ 6 章；教義と聖約 20 章；lds.org/topics の「教会の組織」の項を参照。

ワードの指導者は
 会長会（会長と二人の顧問）として
 奉仕します。



ビショップとその二人の顧問は
 ビショップリックを構成し、
 ワードを管理します。



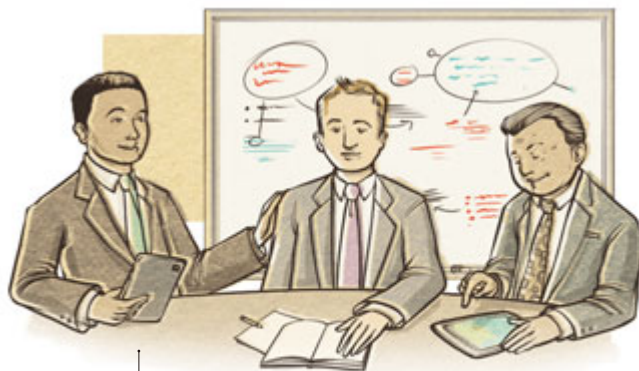
扶助協会会長会は
 ワードの
 女性のために働き、
 その家族を強めるよう
 助けます。



長老定員会会長会と
 大祭司グループリーダーは、
 ワードの男性のために働き、
 その家族を強めるよう
 助けます。



初等協会会長会は子供たちのために働き、
 若い男性会長会および若い女性会長会は、
 12歳から18歳までの青少年のために働きます。



日曜学校会長会は日曜学校のクラスを監督し、
 ワードの人々がさらによく福音を学び、
 教えることができるよう助けます。

教会のニュース

教会のニュースや出来事についてもっとお知りになりたい方は
lds.org/church/news?lang=jpn にアクセスしてください。



LDS 慈善事業——30年間の奉仕

同 胞に奉仕するという原則は新しいものではない。全ての神権時代に、教会は貧しい人や助けを必要としている人を助けることに尽力してきた。

その一例が、30年前の1985年1月27日のことで、教会員は、エチオピアの飢饉の被害者を助けるために特別な断食をして600万ドルの寄付をした。これをきっかけとして、LDS 慈善事業が設けられた。同年11月に行われた断食では、飢饉の救済のためにさらに500万ドルの寄付が行われた。この2回の断食により、わたしたちの時代の慈善活動が大きく加速したのであった。

その断食から30年間で、教会は苦しんでいる人々を助けるために12億ドル分の支援を行ってきた。それに

は、食糧、シェルター、医薬品、衣類、並びに救援物資が含まれる。さらにLDS 慈善事業は、車椅子、予防接種、清浄水、家庭用栄養食品、眼科治療、並びに妊産婦と新生児の世話を提供する慈善団体を通じて長期の支援を行ってきた。教会は複数の信頼できる人道支援団体と提携し、いずれの寄付もその大半を担っている。

トーマス・S・モンソン大管長は、教会員であるわたしたちには飢えた人、住む家のない人、虐げられている人を助ける責任があると度々教えてきた。教会員はそのチャレンジに答えてきた。誇示することも公的な謝意を受けることもなく、教会員はひそかに、何百万時間もの奉仕をし、何億ドルもの寄付を行ってきた。献金用紙で人道支援基金に献金するのに加えて、教会員は、

LDS 慈善協会に寄付し、伝道の奉仕をし、良い友人や隣人になり、福祉施設や地域社会で労働奉仕をし、信頼できる数十万の地元組織に時間と愛をささげてきた。

そうすることで、貧しい人や助けを必要としている人の世話をすることについて救い主が教えられた事柄を果たし始めているのである。

「あなたがたは、わたしが空腹のときに食べさせ、かわいていたときに飲ませ、旅人であったときに宿を貸し……てくれたからである。……」

わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。」(マタイ 25:35-36, 40) ■



神殿での 家族の時間

家族と一緒に神殿に参入できるよう
に支援するため、現在、神殿
のパプテスマ室では毎週一定の時間
が家族のために確保されており、家族
が長時間待たずに代理のパプテスマ
を受けられるようになってい
る。地元
の神殿に電話すれば、パプテスマの時
間の確認と予約が可能である。■

家族に対する助け

ポルノグラフィーへの対処につ
いて親が子供に教える助けとし
て、現在、家庭の夕べのレッスンを利
用することができる。

以下のレッスンが、overcoming-pornography.org/resources に紹
介されている。「わたしの体は神から
与えられたものである」「御霊はわた
しが良いメディアを選べるように助け
てください」「ポルノグラフィーが目
に入ったら、どうするべきか?」「救い主
は、赦しを与え、ポルノグラフィーの
傷を癒したいと思っておられる」「性的
な親密さは神聖で美しいものである」

これらのリソースは話し合うための
アイデアを提供するものであり、教える
順序は特に決まっていない。■

LDS.org の 機能が改善される

LDS.org は、新たに背景の色が白、
メニューの色が青に変更されたのに
加えて、今年の早い時期に機能の改善も
図られた。

言語選択機能が、国と言語の選択に差
し替えられ、国別コミュニケーションペ
ージで母語のコンテンツを簡単に見つけ
られるようになった。

現在、国別コミュニケーションページに
は、LDS.org と同じ「聖典、教え、リソ
ース、ニュース」のナビゲーションメ
ニュー機能がついている。これによっ
て、会員は LDS.org を開かなくても母語のコン
テンツと教会のリソースにアクセスす
ることができ、また検索する際に、母
語のコンテンツか LDS.org のコン
テンツかを選ぶことができる。■



家庭の夕べの 歴史上の出来事

2015年に、家庭の夕べは、その歴史上
の二つの大きな出来事を記念する。

100年前に、ジョセフ・F・スミス大管長
(1838 - 1918年) と彼の顧問は、教会員
に、ともに成長し学ぶための夕べの時
間を確保することを奨励した。そして、
それを行う人は家庭における愛が一層
深まり、親に従う気持ちが増す様子
を目にすると、大管長会は約束した。
家庭の夕べの概念はまったく新しい
わけではなかったが、1915年4月27日
に大管長会から与えられたこの勧め
は、家庭の夕べがさらに広範囲に実
施される助けとなった。

今から50年前に、デビッド・O・マ
ッケイ大管長(1873 - 1970年)は、家
庭の夕べを再度強調した。1965年1
月、マッケイ大管長は、各家庭で毎
週教えるレッスンを掲載した初めての
家庭の夕べ手引きの作成を依頼した。
1970年には、月曜日の夜が、家庭
の夕べを行う夜として提案された。

家庭の夕べが実施されるようになって
から100年後、またその大切さが再
び強調されてから50年後の今日、家
庭の夕べは教会員の生活において今
もなお大切なものである。■



七十人
マーカス・B・
ナッシュ長老

開拓者

現代のための^{いかり}錨

開拓者とその物語、そして彼らの信仰と希望の結果として
神から支え、救い、解放する力がもたらされたことを忘れないでください。



神を信じる信仰の力に
駆り立てられた
アイザック・
パーレット・ナッシュ
(上の写真および右の絵)は、
故郷ウェールズに別れを告げ、
大西洋を船で渡り、
平原を横切り、
ソルトレーク・シティーの
聖徒たちに合流した。

1832年、わたしの妻シェリーの先祖に
当たるウェルサ・ブラッドフォード・
ハッチとその夫イラは、アメリカ合
衆国ニューヨーク州のセネカ湖に近いファ
ーマーズビルという小さな町に住んでいま
した。宣教師のオリバー・カウドリとパー
ラー・P・ブラットがハッチの家を訪れた
とき、ウェルサはモルモン書を購入し、
すぐに読んでしまいました。モルモン書
が真実であると確信した彼女は、バプテ
スマを受けたいと望みました。

しかし、モルモン教徒への迫害が激し
さを増し、出産を控えていたこともあ
って、夫からはしばらく待つべきだと言
われました。出産後間もなくして、ウェ
ルサはバプテスマを受けました。しか
し、その儀式は、川の水面に張っていた
氷に穴を開けただけの場所で執行され
たのです。¹

イラは福音のメッセージに興味を引
かれました。福音についてもっと知り
たいと思っただけでなく、カートランド
神殿の建設のために献金をするべきだ
と強く感じたのです。そこでイラとウェ
ルサは、預言者ジョセフ・スミスに
会うために、アメリカ合衆国オハイオ
州カートランドまで馬車で旅をしまし
た。到着した二人は、預言者は近くの
森で男性のグループと一緒に木を切っ
ているところだと教えられました。

森に着くと、そのうちの男性の一人
がおのを木に刺したまま、大股で二人
の方に歩いて来ます。そしてこう言
いました。「ハッチ兄弟、あなたが来
るのを3日間待っていました。お持ち
いただいた献金は、神殿の説教台を作
るための

費用の一部として使わせていただく
予定です。」

その男性こそ、ジョセフ・スミスで
した。言うまでもなく、イラはバプテ
スマを受けました。イラとウェルサは
家に帰ると、身の回りのものをまと
めて、カートランドの聖徒たちに合流
しました。²

わたしの先祖の一人、アイザック・
パートレット・ナッシュは、ウェールズ
で教会に加わり、大西洋を船で渡り、
平原を横切り、ようやくソルトレーク
・シティーで聖徒たちに合流しました。
到着後、彼は教会の管理長老の一人
が、タバコの使用を非難して、次のよ
うに言うのを聞きました。「この集会
に、今、^か噛みタバコを口にしている
長老たちがいます。豚ですら、このよ
うな有害な雑草は噛みません。」アイ
ザックは、噛みタバコを口に含んで
いましたが、それを静かに吐き出し、
地面に捨てると、タバコに向かって
こう言いました。「さてと、おまえ
との縁もこれっきりだな。」それ以
来、イラが噛みタバコを口にすること
は二度とありませんでした。³

凍りついた川でバプテスマを受け
るようウェルサを駆り立てたものは何
だったのでしょうか。夏まで待てな
かったのでしょうか。教会員ではな
かったにもかかわらず、ニューヨーク
州からオハイオ州まで旅をし、神殿
の建設のために献金をしようとイラ
を駆り立てたものは何だったのしょ
うか。アイザックはどうして故郷を
捨て、大西洋を船で渡り、平原を横
切り、噛みタバコを放棄するもの
のリストに付け加えることができた
のでしょうか。





モルモン書が
真実であることを確信した
ウェルサ・
ブラッドフォード・ハッチは、
夏まで待つよりも
むしろ凍った川で
バプテスマを受けたいと
望んだ。

ゴードン・B・ヒンクレー大管長（1910 - 2008 年）はこう述べています。「福音に従った先人たちを駆り立てた力は、まさしく神を信じる信仰の力でした。この同じ力によって、人々はエジプトを脱出し、紅海を渡り、荒れ野を長い間旅し、約束の地にイスラエルを建設することができたのです。」⁴

信仰とは、行動の原則であると同時に力の原則でもあります。⁵ 信仰とは「物事を完全に知ることはない」のです（アルマ 32：21）。犠牲と試練の中にあっても（エテル 12：4 - 6 参照）行動し（ヤコブの手紙 2：17 - 26；2 ニーフアイ 25：23；アルマ 34：15 - 17 参照）、救い主に従い、その全ての戒めを守るようわたしたちを駆り立てるもの、それは御霊による「確信」です（ヘブル 11：1 参照）。⁶ 朝になれば必ず太陽が昇るように、信仰は希望、すなわちよいことが起こるといふ期待を生み出し（モロナイ 7：40 - 42 参照）、わたしたちにとって支えとなる主の力を与えてくれます。⁷

信仰が開拓者の先人を駆り立てる力であったとするならば、この信仰によって生み出された希望こそが、彼らを錨のようにつなぎ留めてくれたのです。モロナイはこう書いています。

「信仰によってすべてが成就する……〔。〕

さて、神を信じる者はだれであろうと、もっと良い世界を、まことに神の右に一つの場所を、確かに望むことができる。この望みは信仰から生じ、人々にとってその心をしっかりとした不動のものにする錨となる。そしてそのような人々はいつも多くの善い行いをし、神をあがめるようになる。」（エテル 12：3 - 4）

開拓者たちは、キリストを信じる確固たる信仰に駆り立てられ、自分自身のためだけでなく、自分たちの子孫のために、希望、すなわちもっとよいことが起こるといふ期待を抱きつつ行動しました。このような希望があったので、開拓者たちは、いかなる困難の中にあっても、確固として揺らぐことなく神をあがめるようになったのです。神の力は、揺るぎない信仰を持っていた人々に、奇跡的な方法で現れました。

このような開拓者は、どのような形で、今日のわたしたちをつなぎ留めてくれる錨となることができるでしょうか。3つのことを提案します。

開拓者のことを忘れずにいる

開拓者とその物語、そして彼らの信仰と希望の結果として神から支え、救い、解放する力が

もたらされたことを忘れないでください。開拓者の先祖のおかげで、わたしたちは聖約の民である自分がどのような存在なのかを知り、わたしたちの神、すなわちわたしたちが聖約を交わした「変わらない」神が困難や試練のときに、開拓者の先祖と同様、わたしたちをも祝福してくださると確信することができます（モルモン 9:19）。

アルマは次のように教えています。神は、「〔わたしたち〕に立てるすべての約束を果たされる。神はこれまでもわたしたちの先祖と交わした約束を果たしてこられたからである。」（アルマ 37:17）このことを理解すれば、わたしたちは開拓者から力を受けて同じように信仰を持って行動し、希望の錨をしっかりと下ろすことができますでしょう。

これこそ、道徳的にも、霊的にも、物質的にも揺れ動く世界にあって、わたしたちが求める錨です。すなわちキリストを信じる生きた信仰、人を行動へと駆り立てる信仰であり、そして、主の方法でわたしたちをつなぎ留める希望なのです。

ウィリーとマーティンの手車隊の物語は、初期の開拓者の信仰と希望を象徴する出来事となりました。それはほぼ 1,000 人から成る隊員のうち亡くなったのがおよそ 200 人だけだったという奇跡です。⁸ この二つの手車隊は、信仰と希望に満ちた救助隊の働きと、神の助けによって救助されました。⁹

ソルトレーク・シティを出発した救助隊は、手車隊が飲み込まれたものと同様の冬の吹雪に見舞われました。それはいつもの年よりも早い、猛烈で、容赦ない吹雪でした。すさまじい自然に直面し、救援隊員の中には、信仰が揺らぎ、希望を失い、引き返した人々もいました。

それとは対照的に、レディック・オールレッドは、3 週間、厳しい冬の天候の中にあっても、断固として救援基地を離れませんでした。別の救援隊員から一緒に引き返そうと説得されたときも、オールレッド兄弟は断りました。

「わたしは彼の提案を断り、逆に……ここに留まるよう彼に勧めた。手車隊員の命が自分たちにかかっていたからだ。」オールレッド兄弟はそう日記に記しています。「すると彼は……君は救援基地の管理者なのだから、自分たちは君を信頼している、自分たちがどうしなけれ

ばならないのか、それを知るために君が主から言葉を頂く必要があると言った。これにわたしは反論した。なぜなら、〔主は〕既にわたしたちに対する〔御心〕^{みこころ}を告げておられたからだ。」¹⁰

試練のときに表されるそのような揺るぎない信仰は、何事にも動じない人々を生み出します。また、嵐が猛威を振るい方向感覚を失いそうなときにも、確実に一定の方向を指し示してくれます。そのような信仰がもたらす実の一つ、それはそのような信仰を持つ人々がいると、周囲の人々を養い、救助し、祝福することができるということです。手車隊が自分の基地に入ってくるのを目にしたときに、レディック・オールレッドが感じた温かい気持ちを想像してみてください。手車隊が彼の姿を目にしたときに感じた喜びを想像してみてください。

彼らが一致していたことを忘れない

開拓者たちは、おおむね一致していたということを忘れないでください。末日聖徒の西部への移住は、アメリカ西部における他の移住とは異なっていたと歴史家は述べています。

「彼らは文字どおり行軍途中の村でした。正直、団結、規律といった、他に西部へと至る道の途中ではどこでも聞いたことのないような特質に支えられた村でした。……

カリフォルニアやオレゴンへの移住者の中で、自分たちの後に続く人々のことまで考えた人たちはほとんどいませんでした。……しかし、モルモンの場合は違っていました。開拓隊が最初に考えることは、野営に適した場所や、森、水、草を見つけ、距離を測り、マイル標識を設置することでした。一つの隊が、必死になって橋を架けたり、川を渡るための浅瀬を作ったりすると、後続の隊も同じようにしました彼らはいかだやフェリーボートを作り、それを後に続く隊のために残して行ったのです。」¹¹

このような違いが生まれた理由に、教会員たちはシオンを築くためにやって来たということがあります。実質的な意味としては、シオンとは「各人がそれぞれ自分の兄弟を自分自身のように尊び、〔主〕の前で徳高く聖くあるようにし〔ている状態〕」を指します（教義と聖約 38:24）。シオン、すなわち心を一にし、思いを一に



世界は現代の開拓者を必要としています

「わたしたちも、昔の開拓者のような勇氣と強い意志を抱くことができるでしょうか。皆さんやわたしも、実際に開拓者になれるでしょうか。わたしたちも開拓者になれると知っています。ああ、現代の開拓者を、世界はどれほど必要としていることでしょう。」

トーマス・S・モンソン大管長
「世界は現代の開拓者を必要としています」
「リアホナ」2013年7月号, 5



最初に出席した集会で、預言者ジョセフ・スミスはイラ・ハッチにこう語った。「お持ちいただいた献金は、神殿の説教台を作るための費用の一部として使わせていただく予定です。」預言者に感銘を受けたイラは、バプテスマを受け、妻とともにニューヨークからオハイオ州カートランドに移った。

し、義のうちに住む人々で構成され、その中に貧しい者がいない社会（モーセ7：18 参照）は、「すべての者〔が〕その隣人の益を図るよう努め、また神の栄光にひたすら目を向けてすべてのことをなすようにし〔た〕」結果として、生まれたものですし、生まれるものです（教義と聖約 82：19）。

このような仲間意識と互いに責任を持ち合う意識があったために、開拓者は一致団結し、神の預言者に従おうという努力が生まれました。開拓者が歴史に記録されているように成功を収めたのも、おもにそれが理由です。また、それこそが開拓者からわたしたちに伝えられている遺産を構成する重要な要素の一つなのです。開拓者はささやきます。わたしたちも、主の預言者に従い、仲間意識を持ち、互いに責任を分かち持って、一つとなって行動を起こすとき、その度合いに応じて、主の力により榮えることができると。

開拓者の精神を伝えていく

わたしたちには、開拓者に歩みを始めさせた、その同じ精神を自分の子供や孫に伝えていく責任があります。その方法について簡潔に教えて

くれるのが、エクアドルのオタバロに住むムニョス家族の例です。2013年3月、わたしはホワン・ホゼ・ムニョス・オタバロ兄弟、妻のローラ、そして息子の一人、ホワン・アマードと会って話をしました。これまで教会でどのように過ごしてきたか知るためです。ムニョス兄弟はオタバロにおける最も初期の改宗者の一人でした。

幼い頃、ムニョス兄弟はスペイン語のモルモン書をプレゼントされました。読むことはできませんでしたが、その書物を手に持ったとき、強い力と御霊を感じました。ムニョス兄弟はその書物を家に隠しておきました。兄弟たちから破られたり捨てられたりすることが分かっていたからです。

彼は、ときどき、その書物を隠し場所から取り出しては、ただ、手に持って、その力を感じていました。大変な逆境と反対に耐え、ムニョス兄弟は教会に加わると、オタバロの村から召された最初の宣教師の一人となりました。後に帰還宣教師の姉妹と結婚し、一緒に信仰深い、福音を中心とした家庭を築きました。教会の指導者として忠実に奉仕し、モルモン書と神殿の儀式の言葉を現地語のケチュア語に翻訳する業に携わりました。

帰還宣教師であったホワン・アマードは、ムニョス兄弟の信仰にまつわる話を、涙を流しながら一緒に聞いていました。父親が話を終えたとき、この善良な息子はこう言いました。「わたしは北アメリカで手車を引き大平原を横断した開拓者にこれまでいつも感謝してきました。生涯を通じて、彼らの信仰と熱意、そして献身は、わたしに靈感と深い感動をもたらしてきました。しかし、ここオタバロにも開拓者がいて、それが他でもない自分の両親だということには、今の今まで気づきませんでした。本当にうれしくてたまりません。」

ムニョス兄弟姉妹の話は、開拓者となることによって、すなわち後に続く人々のために福音の道を切り開き、示し、実践することによって、信仰という開拓者の遺産を伝えることができるということをわたしたちに教えてくれています。主を信じる信仰を常に働かせ、自らの霊を主に對する希望につなぎ留めるとき、わたしたちは「しっかりとした不動のもの……となる。そして……いつも多くの善い行いをし、神をあがめるようになる」のです(エテル12:4)。そして、レディック・オールレッドのように、わたしたちも人生の旅路の途中で迷った人々を助け出し、そして将来の世代を含む助けられた人々は、わたしたちからそのような人生には力と平安があるということを知ることでしょう。

十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老はこう述べています。

「信仰と勇気を示すためにほんの少しの身の回り品を馬車や手車に積み込んで1,300マイル(2,090キロ)歩くよう言われる人は、わたしたちの中にはまずいないでしょう。わたしたちが今日直面している問題は彼らとは異なります。違う山を登り、違う川を渡り、違う谷を『花咲〔かせ〕』ているのです(イザヤ35:1)。……

わたしたちの苦難は、罪に浸り霊的なものへの無関心にあふれ、身勝手な行いや不正直、貪欲が至る所で見られる世の中で生きることです。今日の荒れ野とは、混乱と交錯する教えの荒れ野です。」



**エクアドルのオタバロに住む
ホワン・ホゼ・ムニョス・
オタバロとその妻ローラのような
開拓者の話から、わたしたちは
後に続く人々のために
福音の道を切り開き、示し、
実践することによって、
開拓者の遺産を伝えることが
できるということを知る。**

神の戒めを軽々しく扱うようなことがあってはならないと、バラード長老は付け加えます。「この世の誘惑や悪に負けないようにするためには、現代を生きる真の開拓者としての信仰と勇気が必要になります。」¹²

わたしたち一人一人が、同じように、開拓者となって、先に立って進み、罪と混乱、そして疑いにあふれる世の中に翻弄される人々のために道を切り開こうと決心することができますように。開拓者とその物語、また心一つにしてシオンを築くためにやって来た彼らの信仰を記憶にとどめることができますように。そのような信仰をわたしたちが出会う全ての人々、特に、若い世代の人々に伝える責任を引き受けることができますように。また、そうするに当たって、主イエス・キリストを信じる信仰を行動の起点とする生活、よいものは全て主を通してもたらされるという希望にしっかりと錨を下ろした生活を、わたしたち自身の「生きた……供え物」としてささげることができますように(ローマ12:1)。

開拓者となるということは、「善を行うことに疲れ果て……ない」ということです(教義と聖約64:33)。ウェルサ・ハッチは、バプテスマを受けた場所が凍った川であったことに取り立てて重大な意味があったとは思わなかったに違いありません。アイザック・ナッシュにとっても、嘔みタバコを地面に捨てることはそれほど重大なことではなかったかもしれませんが。またレディック・オールレッドにしても、主がそうするようにと命じられたことを行っただけでした。

こうした一つ一つの小さな、簡単なことによって大いなることが成し遂げられてきたのです。ですから、偉大な業にあって、小さなことなど存在しないということを忘れないようにしましょう。福音を実践し、預言者に従い、疑いではなく信仰を選ぶとき、また信仰を育み、心の錨となる希望を生み出すような小さなことを行うとき、わたしたち一人一人が、後に続く人々のために道を備える開拓者となるのです。■

2013年7月24日、ソルトレーク・シティーのSons of Utah Pioneers(「ユタ開拓者の息子たち」)の暁の礼拝集会で行われた説教、「開拓者——未来のための錨」より。

注
1. *Wandering Home: Stories and Memories of the Hatch Family* (1988年), 3 参照
2. *Wandering Home*, 3 参照
3. アイザック・バートレット・ナッシュ, *The Life-Story of Isaac B. Nash* [日付不明], 2
4. ゴードン・B・ヒンクレイ, "The Faith of the Pioneers," *Ensign* 1984年7月号, 5
5. *Lectures on Faith* (1985年): ヘブル11:4-40; モルモン書ヤコブ4:6; エテル12:7-22 参照
6. *Lectures on Faith* (1985年), 69も参照
7. *Bible Dictionary* 「信仰」

の項参照。アルマ57:19-27:58:10-13; モルモン9:8-21; モロナイ7:33-37; 教義と聖約27:17も参照
8. アンドリュウ・D・オルセン, *The Price We Paid: The Extraordinary Story of the Willie and Martin*

Handcart Pioneers (2006年), 470 参照
9. オルセン, *The Price We Paid*, 473-474 参照
10. オルセン, *The Price We Paid*, 160 で引用
11. ウォレス・ステグナー, *The Gathering of Zion: The Story of the Mormon*

Trail (1964年), 11
12. M・ラッセル・バラード「開拓者の信仰と勇気——今と昔」『リアホナ』2013年7月号, 20

モルモン書^{の出現}



皆さんは、ジョセフ・スミスがそうであったように、
神の御手^{みて}に使われる力ある者となるために、
完全な生活を送っている必要はありません。

マシュー・S・ホランド

この記事は預言者ジョセフ・スミスに関する2回シリーズの後半部分です。前半の記事「パルマイラへの道」は『リアホナ』2015年6月号に掲載されています。

パルマイラへと至るジョセフ・スミスの道は、災難と悲しみ、試練の連続でしたが、モルモン書を世に出すまでのジョセフの道も苦難の連続でした。それは、あるときには、底知れない絶望の谷間に突き落とされるような道のりだったのです。

1823年9月21日、ジョセフは眠れぬ夜を過ごしていました。どの教会が正しいかを知りたいというジョセフの心からの願いに応じて、父なる神とその御子イエス・キリストに顔と顔を合わせてまみえるという、あの壮大な示現を受けてから、もう3年が経過していました。あの日以来、ジョセフは「しばしば多くの愚かな過ちを犯し、若者としての弱さと人間性の至らなさを示した」状態でした（ジョセフ・スミス—歴史1:28）。

こうした欠点を自覚していた17歳のジョセフは、「[自分の]すべての罪と愚かな行いを赦して下さるように」願い求めました（ジョセフ・スミス—歴史1:29）。この祈りがこたえられて、一人の御使いが寝台の傍らに現れました。ジョセフはこう報告しています。「その御使いは、主はすでにわたしの罪を赦しておられると言いました。」¹

この御使いは、自らをモロナイと名乗り、「金版に記された」書物があって、そこには「完全な永遠の福音」が載っていて、それがニューヨーク州パルマイラのジョセフの家から程近い丘に隠されていると告げました。その書とともに、「銀のつるにはめた二つの石も……隠されていること——これらの石は胸当てに付けてあって、ウリムとトンミンと呼ばれるものを成」し、さらに、「その書を翻訳するために神がそれらを備えてくださった」ことが告げられました（ジョセフ・スミス—歴史1:34, 35）。

その夜モロナイは、このひどく驚いている若者をさらに2回訪れ、自分が前に言ったことを全て注意深く繰り返したのです。この御使いは、訪れる度に一つの警告を加えました。ジョセフはこう言っています。「(父の家族は貧しい暮らしをしていたので)金持ちになるために版を手に入れるように、サタンがわたしを誘惑しようとするであろうと告げられた。そしてその方は、このようなことのないようにわたしに命じ、版を手に入れるに当たっては神の栄光を現す以外の目的を心に抱いてはならないこと、また神の王国を築こうとする動機以外のいかなる動機にも左右されてはならないこと、そうでなければそれを手に入れることはできないことを告げられた。」（ジョセフ・スミス—歴史1:46）

その翌日、ジョセフは前の晩に起きた出来事のために疲れ果てていました。父は農作業をしなくてもいいと言ってくれたので、ジョセフは休息を取るために家に向かいますが、その途中でモロナイの4度目の訪れを受けます。御使いはジョセフに父のところへ戻って、前の晩の示現について話をするように指示します。ジョセフはそれに従いました。その

後、ジョセフは近くの丘に向かいました（ジョセフ・スミス—歴史 1: 49 – 50 参照）。

丘に到着したジョセフは、てこを使って、埋められていた石の箱を開けました。その中に版が入れてあったので、取り出そうとして手を伸ばしました。すると、強い衝撃を受けて後ろに振り払われ、力もなくなってしまいました。ジョセフは大きな声を上げて、なぜ自分が版を手に入れることができないのかと尋ねたところ、モロナイは「あなたが主の戒めを守ってこなかったからです」と答えました。²

その御使いがはっきりと警告していたにもかかわらず、ジョセフは、その版があれば家族を経済的な窮地から救えるかもしれないという考えを抱いていたのです。³ その結果、モロナイはジョセフのために4年間という準備期間を設定し、ジョセフが成長して、そのような神聖な業に求められる純粋な目的で召しに応じることができるように、心と思いが備えられるのを待つことになったのです。

翻訳の障害

それから4年後、ジョセフについてその備えができました。しかしながら、版を翻訳するにしても、多くの障害がありました。新婚のジョセフは、エマと自分自身を養うと同時に、ジョセフの血縁の家族がまだジョセフの収入に大きく依存していたため、

彼らのためにも働く必要がありました。恐らく最も心を悩ませていたのは、ジョセフが広い範囲の地域社会が持つ敵対感情と貪欲さに直面していて、版のことが人に知れたり、なくなったりのかもしれないという脅威にさらされていたことでした。

パルマイラの暴徒の一団がジョセフに、版を見せろ、そうしなければ体にコールタールを塗って羽根をつけてやると迫ってきたとき、ジョセフはそこを去らなければならないと思いました。⁴ そこで、1827年の後半に、ジョセフは版を豆の樽の中に入れ、幾らかの所持品をまとめ、友人でもあり初期の信者でもあったマーティン・ハリスから50ドルを借り、身重の妻を連れて、100マイル（161キロ）以上も南のペンシルバニア州ハーモニーまで旅して、エマの両親と一緒に住むことになりました。ジョセフは、住居を移すことで日常の仕事も容易になり、当時パルマイラに蔓延していた貪欲と敵意から生じる不安定で危険な状況から逃れられることを願ったのです。

その年の冬には落ち着きを取り戻し、ジョセフはモルモン書の文字をわずかながら翻訳することができました。4月になるとマーティン・ハリスがハーモニーに引っ越して来て、筆者としてジョセフを助けることになり、翻訳の作業が本格的に軌道に乗り始めました。6月の中旬までに、すなわち、ジョセフが版を手に入れるためにクモラの丘へ初めて導かれて行ったあの運命の日からおよそ5年の年月を経て、二人は116ページの翻訳原稿を完成させました。⁵

このとき、マーティンは、妻のルーシーに見せるために原稿をパルマイラまで持ち出す許可を得たいとジョセフに懇願します。自分の夫の時間と財産をそれほどまでにつきだませているものが、一体何なのか、その証拠を少しでも見たいとルーシーが望んだのも、実にうなずけることでした。そこで、ジョセフが主に尋ねると、主は二度にわたって、マーティンに原稿を持ち出させてはならないと告げられました。⁶

妻の猜疑心とますます強まる要求をなだめようと必死になるマーティンは、再び懇願してジョセフを困らせました。ジョセフは、悩んだ末、主のもとに行きます。3度目です。主はこれにこたえて、指名された5人だけに見せて、その後直ちに原稿を戻すなら、マーティンが原稿を持ち出してもよいとジョセフに告げられました。ジョセフはしぶしぶ原稿をマーティンに渡しましたが、その前に、マーティンに主が指示されたとおりに行うという誓約書に署名させました。⁷

これは、やがてジョセフの身に起きる数々の出来事と同様に、ジョセフを意気消沈させる一連の出来事の始まりにすぎませんでした。マーティンが出発して間もなく、エマは男の子を出産しました。エマとジョセフは、この初めての子供にアル



ジョセフが農作業を休むために家に向かったとき、ジョセフはモロナイの4度目の訪れを受けました。

マーティン・ハリスは、スミス家の門の所で立ち止ってフェンスに登り、帽子を深くかぶって目を隠し、そこに座りました。



ビンと名付けました。ジョセフが愛してやまない5年前に先立った兄、アルビンを慕って名前がつけられたのです。悲しいことに、この幼いアルビンは、心のすき間を埋めるというよりも、むしろ大きく広げることになります。1828年6月15日、誕生したその日に亡くなったのです。

しかし、まるでこれだけでは十分ではないかのように、難産による極度の疲労と子供を亡くしたことによる精神的な苦痛のために、今度は、エマ自身が死の淵をさまようことになってしまったのです。2週間にわたって、ジョセフはエマのことを心配し続け、彼自身も赤ん坊のアルビンを亡くすという悲しみとも闘いながら、エマの健康が回復するように看病しました。エマがようやく安定した症状を見せたとき、ジョセフの思いはマーティンと原稿に向けられました。⁸

ジョセフの不安を感じ取ったエマは、パルマイラへ戻って

で一緒に朝食を取るようになっていましたが、昼まで姿を現しませんでした。やがてとほとほと歩いて来たマーティンは、家の門の所で立ち止ってフェンスに登り、帽子を深くかぶって目を隠し、そこに座りました。¹⁰

「全てが失われた。」

ようやく、家の中まで入って来ました。マーティンは、一言も話さずに、ナイフとフォークを取って、食べようとしていました。しかし、一口食べる前に、こう叫んだのです。「ああ、わたしは地獄に落ちてしまった。」¹¹

これを聞いたジョセフは突然飛び上がり、大声を出して言いました。「マーティン、まさかあの原稿を失くしたと言うのですか。誓いを破って、あなただけでなく、わたしにも罪の宣告を招いてしまったのですか。」

マーティンは重い口を開いて、こう答えます。「そうなんだ。失くしてしまったんだよ。どこに行ったのか、わたしも分からないんだ。」¹²（マーティンはこの原稿を、指名された5人以外にも見せていました。ジョセフが後日記録したことによれば、「そして、何らかの策略により、原稿が彼から取り去られたのです。」¹³）

ジョセフは泣き崩れて、叫びました。「全てが失われた。全てが失われた。どうしよう。わたしは罪を犯してしまった。神の怒りを招いたのはわたしなのだ。」その言葉とともに、「おえつとうめき声、そして最も深い悲嘆に暮れる重苦しい空気が家中に張り詰めていました。」その中でジョセフは、誰よりも一番悲痛な表情を見せていました。¹⁴

翻訳の作業はしばらくの間、中断しました。そして、版と解訳器は9月22日までジョセフのもとから取り上げられました。最初に指示された準備期間をいや応なく思い起こさせられる日でした。彼はまた、主から受けた次の厳しい叱責にも心を痛めました。

「また見よ、あなたは何としばしば神の戒めと律法に背き、人々の説き伏せに乗ってきたことか。

見よ、あなたは人を神よりも恐れてはならなかった。たとえ人々が神の勧告を無視し、神の言葉を軽んじても、

それでも、あなたは忠実でなければならなかった。そうすれば、神はその腕を伸べて、敵対する者の放つすべての火の矢からあなたを助けたであろう。また、苦難のときには、いつもあなたとともにいたであろう。」(教義と聖約3:6-8)



マーティンと会い、原稿を確認するようにジョセフに勧めました。ジョセフは、不安な様子を見せながら、駅馬車に乗り北へ向かいます。旅の間、食べることも眠ることもできなかったジョセフは、やっとのことで両親の家までたどり着きました。それには、駅馬車を降りてから夜の暗闇の中を優に20マイル(32キロ)は歩かなければなりませんでした。それも、ジョセフのことを気の毒に思った乗客(「全く知らない人」)の助けがあって初めて可能になったのです。⁹

ジョセフが到着して、ようやくわずかな食物を口にしてから、マーティンは呼び出されました。マーティンは、スミス家

そのような啓示を受けることのつらさを想像してみてください。ジョセフは最初の子供を亡くしたばかりでした。妻をも危うく失うところだったのです。そして、マーティンに原稿を渡すという彼の決断も、神聖な業を助けてくれる友人のたつての願いに心を動かされたものでした。しかし、ジョセフがどれほどひどく取り乱していようと、また、マーティン・ハリスがどれほど信頼できる人物だとジョセフが考えていたとしても、ジョセフは間違いなく、神がその弟子たちに完全に期待されていたことを一つ裏切ってしまったのです。それは、常に、肉の腕ではなく、主の御腕みうでに頼らなければならないということでした。ジョセフの永遠の名誉のために言うなら、ジョセフはこの教訓をこのように奥深く、深遠な方法で学んだので、同じ過ちを犯すことは二度とありませんでした。再び版と訳器を受け取って間もなく、ジョセフは宗教的な論文を書くような



モルモン書を翻訳している間も、ジョセフとオリバーは説教をしたり、啓示を受けてそれを記録したり、バプテスマを受けたりしました。

勢いで翻訳を再開しました。そのようなことは、イエス・キリスト御自身が教導の業をされて以来、世界の人々が目にしたことがないようなものでした。1829年の春から、今度はオリバー・カウドリをジョセフの傍らに置いて始まった翻訳は、モルモン書の588ページを完了させるという驚異的なスピードで進められました。翻訳にかけた日数は、多く見ても、ほんの65日でした。¹⁵ これは、ジョセフ・スミスの最初の翻訳作業と比較しても、実に目がくらむようなスピードです。欽定版の英訳

聖書を作成するとき、47人の熟練した学者が、すでに知っている言語に取り組みながら、完成まで7年の歳月がかかったことを心に留めてみるのもよいでしょう。¹⁶

さらに、この途方もない翻訳作業を続けているさなか、ジョセフとオリバーは、説教をし、啓示を受けて記録し、アロン神権とメルキゼデク神権の回復に携わり、バプテスマを受け、家庭の務めを果たし、ニューヨーク州フェイエットに引っ越し、その原稿の出版まで行ったのです。しかし、その中でも最大の奇跡と言え、いかに速やかに物事を成したかということではなく、この非常に厳しい時間枠の中で、いかに多くのことが生み出されたかということです。

驚くべき、複雑な書物

最近のある学術的な報告によると、この65日の翻訳作業中にジョセフ・スミスが事実上生み出したものは以下のとおりです。「〔モルモン書には〕1,000年以上にわたる歴史が書かれており、その中には名前が明記されている人が200人ほど登場し、約100か所に及ぶ地名が含まれているだけでなく、物語の内容がおもに3人の編集者兼歴史記録者であるニーファイ、モロナイ、モルモンの手によって書かれているということである。この3人は、口をそろえて自分の記録はその前に存在していた数多くの記録に基づいたのもであると主張している。その結果、直接話法で書かれたものから、挿入された説教や手紙、聖文の注解や詩まで、多様な様式が混在するという複雑な文章構造になっている。時代配列、地理、系図、そして原典の記録を詳細にわたって読み解くためには、かなりの忍耐を必要とするが、モルモン書ではこれらが皆驚くほど矛盾なく納まっているのである。時代配列については、何回か時代をさかのぼったり、時代的に重複した話もあるが、実質的には、時代が一つも欠けることなく扱われている。……そして、モルモン書をつづる人たちは、26人のニーファイ人の記録保管者と41人のヤレド人の王（敵対した者たちの系図も含む）に関係する順序と家族のつながりの両方を完全に把握している。その複雑さは、この書物の著者が数々の表や地図を活用したに違いないと思わせるほどである。しかし、ジョセフ・スミスの妻は……ジョセフが事前に何かを書いておいて、翻訳するときに、それを暗記していたとか、誰かに相談していたのではないかということをはっきりと否定している。実際、ジョセフが口述による書き取り作業を開始するに当たって、原稿を見たり、直前の文節を読み直してもらったりすることはなかったと妻は主張している。」¹⁷

この書物とその翻訳の中には、極めて洗練された文章構造

ジョセフとオリバーは、1829年春、サスケハナ溪谷で起きた
アロン神権の回復とともに携わりました。



が存在し、古代の習慣と伝達方法やその他のことも含め、驚くほどの類似点が見いだせるのは言うまでもないことです。¹⁸

こうした事実を前にして、一人の男性が、とりわけ何の公的な教育を受けずに、どうしてそのような偉業を成し遂げることができたのかと思うのは当然のことです。わたしの考えでは、少なくとも、ジョセフ・スミスがモルモン書を創作したのではないと思います。ジョセフ・スミスには創作などできなかったからです。しかし、この論理がどれほど強固に見えたとしても、最終的に、この書物が真実であるかどうかの決定的な証拠となるわけではありませぬし、それがわたしの証の礎とな^{あかし}っているわけでもありません。それが果たしている役割は、それほど遠くない過去に専任宣教師として奉仕していたとき、御霊がわたしに教えてくれたことに、重みを加えることなのです。プロボ宣教師訓練センターという奉獻された場所やスコットランドの緑なす丘や谷で、わたしは、霊的な証を得るという経験を重ねてきました。それは、ジョセフ・スミスは神から召され、この末の日に神の御手に使われる者となり、ジョセフ・スミスが生まれるはるか前に存在していた書物、真実であって並び立つものがなく、幸福という信仰に満ちた生活を送るための、比類のないかなめ石となる書物を世に出したという証なのです。

さらにわたしには、ジョセフ・スミスの生涯そのものが、この書物が送るメッセージと一体となっているという、燃えるような証があることを明確にお伝えします。モルモン書を開くと、ニーファイの宣言が目にとまります。「主の深い憐れみは、信仰があるために主から選ばれたすべての者のうえに及ぶ」ことを、わたしニーファイはあなたがたに示そう。」(1ニーファイ 1:20, 強調付加) この書を閉じようとする、モロナイの嘆願が目に入ります。「見よ、わたしはあなたがたに勧めたい。……あなたがたがこれを読むときに、アダムが造られてからあなたがたがこれを受けるときまで、主が人の子らにどれほど憐れみをかけてこられたかを思い起こし……てほしい。」(モロナイ 10:3, 強調付加)¹⁹

モルモン書は最初から最後まで、その証と歴史は、人が真心

からの悔い改めと信仰によって神に心を向けるなら、たとえ罪や不完全さがあつたとしても、神は惜しむことなくともに働き、癒やし、祝福されることを示しているのです。

神に信頼を置く

皆さんは、ジョセフ・スミスがそうであったように、神の御手に使われる力ある者となるために、完全な生活を送る必要はありません。過ち、失敗、そして混乱は、ジョセフの生涯と使命に付き物でした。そして皆さんの生涯にも、同じように付いて回ります。でも、がっかりしないでください。「全てが失われた」と考えないようにしてください。全てが失われることはありませんし、憐れみの神を頼って生きる人が失われることは決してないのです。

皆さんには、皆さんを見守り、皆さんを救助する備えができていて、皆さんの腕よりもはるかに力強い御腕で皆さんの奉仕の力を強めてくださる長兄がいます。実際、その御腕は、肉ある者の全ての腕を合わせた力よりもはるかに強いのです。その御腕は、皆さんがどれほど孤独であったり、またどれほど落胆したりしていても、「苦難のときには、いつも」皆さんを支え(教義と聖約 3:8)、祝福するためにすぐそこにあるのです。ですから、皆さんが人生の歩みを進めるとき、その御腕を信頼してください。「あなたがたは強く、かつ勇ましくなければならぬ。彼らを恐れ、おののいてはならない。あなたの神、主があなたと共に行かれるからである。主は決してあなたを見放さず、またあなたを見捨てられないであろう。」(申命 31:6)

ジョセフはこのことを見だし、世界を変えました。皆さんにもそれができるのです。■

2014年2月15日にプロボ宣教師訓練センターで行われた“The Making of the Book of Mormon, Joseph Smith and You”(「ジョセフ・スミスとあなたがたのモルモン書への道」)と題するティポジョナルの講演から。

注

1. *Histories, Volume 1: 1832 - 1844, The Joseph Smith Papers*, Histories series 第1巻 (2012年), 14で引用; josephsmithpapers.org も参照
2. *Histories, Vol. 1: 1832 - 1844*, 83で引用
3. オリバー・カウドリ, “A Remarkable Vision,” *The Latter-day Saints Millennial Star* 7 (1840年11月): 175 参照
4. マーティン・ハリス, *Tiffany's Monthly*, 1859年6月, 170 参照
5. *Histories, Vol. 1: 1832 - 1844*, 244 参

- 照: Gospel Topics, “Book of Mormon Translation,” lds.org/topics も参照
6. *Histories, Vol. 1: 1832 - 1844*, 245 参照
 7. *Histories, Vol. 1: 1832 - 1844*, 245 - 246 参照
 8. ルーシー・マック・スミス, *Biographical Sketches of Joseph Smith the Prophet, and His Progenitors for Many Generations* (1853年), 118 参照
 9. ルーシー・マック・スミス, *Biographical Sketches*, 119-120 参照
 10. ルーシー・マック・スミス, *Biographical*

- Sketches*, 120 参照
11. ルーシー・マック・スミス, *Biographical Sketches* 121で引用
 12. ルーシー・マック・スミス, *Biographical Sketches* 121で引用
 13. *Histories, Vol. 1: 1832 - 1844*, 247で引用
 14. ルーシー・マック・スミス, *Biographical Sketches*, 121 - 122で引用
 15. ジョン・W・ウェルチ「質疑応答——ジョセフ・スミスはどれくらいの時間をかけてモルモン書を翻訳したのでしょうか」『聖徒の道』1989年

- 9月号, 14 - 15 参照
16. “King James I of England,” king-jamesbibleonline.org/King-James.php. 参照
 17. グラント・ハーデイ, *Understanding the Book of Mormon: A Reader's Guide* (2010年), 6 - 7
 18. テリル・L・ギベンス, *By the Hand of Mormon: The American Scripture that Launched a New World Religion* (2002年), 156 参照
 19. グラント・ハーデイ, *Understanding the Book of Mormon*. 8 参照



義の報いを 刈り取る

まっすぐ歩む者に
良い物を拒まれることはありません。

世の中には文字どおり混乱しています（教義と聖約 45：26 参照）。わたしたちが受けるチャレンジの多くは、霊に関する事柄です。わたしたちが個人として必ずしも解決できるとは限らない社会的な問題です。それにもかかわらず、世界中で義が後退している時代にあっても、わたしたちが個人の努力で得ることができる実際的な報いがあります。

「義の報い」という考え方そのものは、今日の世界において孤立している概念です。人々に義を選ばなければならないと確信させることは、長年の課題でした。「生まれながらの人は神の敵」です（モーサヤ 3：19）。昔から常に「すべての事物には反対のもの」があります（2 ニーファイ 2：11）。

現代に見られる違いは、「大きく広々とした建物」（1 ニーファイ 8：31）にいる無神論者が、わたしが過ごしてきた人生のどの時期よりも、声を大にし、多くの論争を引き起こし、より不寛容になっていることです。多くの事柄について、神の不興を買うことよりも、未来の人々が歴史を振り返ったときにどう評価するかを気に掛けるとき、彼らは自分の信仰が弱くなっていることを示しているのです。かつては大多数の人が、その時代の一般的な考えや支配的な哲学ではなく、神の戒めによって裁かれることを理解していた時代がありました。今は神に裁かれることよりも、他人から嘲りを受けることをもっと気に掛ける人々があります。

善と悪の戦いは今に始まったことではありません。しかし今日、全ての人がよりどころとするべき道徳や義にかなった標準はないと、間違っって結論づける人の比率が非常に高くなっています。

そうであっても、末日聖徒イエス・キリスト教会には、かつてないほどに信仰の強い会員たちがいます。教会の会員は、同じような道徳的価値観を持つ他の人々とともに、疑惑や不信仰が渦巻く中で信仰のとりでとなっているのです。預言者アルマが言明したように、わたしたちは、「悪事は決して幸福を生じたことがな〔く〕」（アルマ 41：10）、御父が御自身の子供たちのために立てられた計画は「幸福の計画」（アルマ 42：8、16）であることを知っています。



十二使徒定員会
クエンティン・L・
クック長老



わたしたちが
注意深くなれば、
この世的な考え方の
影響を受けて、
霊的な事柄に対する
強い決意から
離れてしまうことが
あります。

わたしの願いは、皆さん個人と皆さんの家族がともに、義の報いに対する理解を深め、そうした報いを努力して得るための助けとなる提案をすることです。

霊性の報い

「**霊的な成長を遂げようとするとき、この世に関わる事柄に対して正しい考え方をするにはどうしたらよいでしょうか。**」

わたしたちはこの世の影響を強く受けています。日常生活の物理的な側面は、紛れもないチャレンジとなっています。社会は、この世の報いというレンズを通して全ての物事を見る傾向があります。

教義と聖約のはしがきはまさにこの問題に焦点を当て、わたしたちに危険を知らせ、現在と将来において備え自らを守るための指針を与え、この問題に関する深い洞察を与えています。「彼らは主の義を打ち立てるために主を求めようとせずに、すべての人が自分の道を、自分の神の像を求めて歩む。その像は俗世の形であり、その本質は偶像のそれである。」(教義と聖約 1:16 参照)

スペンサー・W・キンボール大管長(1895 - 1985年)は、資格、学位、財産、家、家具などのこの世のものが偶像になり得ると教えています。これらの目的には実際に価値がありますが、必要以上に優先することによって、主に対する礼拝を減じたり、主の義を打ち

世界はこの世の日々の経済的な問題に焦点を当てていますが、わたしたちは霊的な事柄に焦点を当てる必要があります。



立てて天の御父の子供たちに対する救いの業を行う努力を緩めたりするとき、わたしたちは偶像を造っていることになると思います。キンボール大管長は言っています。¹

時としてわたしたちは、この世的な考え方に影響を受けて、巨万の富を切望するようなことはしないにしても、霊的な事柄に熱意を注がなくなることがあります。

何年も前に、わたしは幾つかの変わった情景を表す興味深い画面上の表示を知ることになりました。異なった情景が大きなバナーの下に描かれ、こう書かれていました。「今夜キリストが来られたら、誰のところに行かれるでしょうか。」描かれていたものをわたしが正しく記憶していれば、以下のような情景が含まれていたと思います。

- 看護師に付き添われてベッドに横たわっている年老いた病気の女性。
- 新生児を抱いてうれしそうな若い母親。
- 空腹で泣いている子供たちのいる家族。
- 裕福な家族。
- 一緒に喜んで歌っている貧しいながらも楽しそうな子どくさんの家族。

わたしたちは、救い主が再び来られる日や時間は分からないということを知っています。クリスチャンとして、貧しい人、困っている人、伴侶に先立たれた人や孤児の世話をすることも知っています。それにもかかわらず、そのバナーには次にはっきりと書かれていました。「今夜キリストが来られたら、誰が主をお迎えする準備ができているでしょうか。」

次にわたしはこう思いました。その情景は人々の現実の状態について多くを伝えてはいても、その人たちの霊的な状態やキリストに対する決意については何も伝えていないと。

人生を振り返り、救い主とその福音に対する決意を表す第一歩は、バプテスマです。新しい改宗者や幼い子供を除き、わたしたちがバプテスマを受けたのは何年も前のことです。

偉大な預言者アルマはわたしたちに雄弁に語りこう述べています。「さて見よ、わたしの同胞よ、わたしはあなたがたに言う。もしあなたがたが心の変化を



わたしたちの生活に焦点を当て、
霊的な事柄を強調することを増やす必要があります。

経験しているのであれば、また、^{あがな}贖いをもたらす愛の歌を歌おうと感じたことがあるのであれば、今でもそのように感じられるか尋ねたい。」(アルマ 5:26)

その後、アルマは深遠なメッセージを続けています。それは今日のわたしたちに当てはまるものです。基本的にアルマは聖徒に対して、もし死んだら、神に会う備えができていないか、と尋ねています。それからアルマは、神の前に罪のない状態であるために必要な4つの特質を強調しています。

まず、「[わたしたちは]十分にへりくだっている[か]。」これはある意味で、へりくだり、打ち砕かれた心と悔いる霊を持つという、バプテスマを受けるための条件に戻ることです。

第2に、「[わたしたちは]高慢な心を取り去っているか。」アルマは、聖者を足の下に踏みつけ、心を高慢にして誇ることを、すなわち、心が俗世のむなしなものに執着し、自分は他の人よりも優れていると思うことに対して警告しています。

第3に、わたしたちは「ねたみを取り去って[いるか]。」他人が持っているものだけにこだわるばかりに大きな祝福を受けていながら感謝の気持ちを感じない人には、妬みは最も有害なものとなり得るのです。社会における大半の人の主要な目標や望みが名声や富となり、信仰と家族に取って代わってしまったので、「裕福な生活に対する妬み」²が増えています。

第4に、わたしたちは自分の兄弟姉妹を嘲ったり迫害したりしていないでしょうか。今日の世の中では、おそらくこれはいじめと呼ぶでしょう(アルマ 5:27-30, 53-54 参照)。

謙遜、高慢、妬み、迫害に関するこのメッセージほど、わたしたち自身の時代の問題に当てはまるものはないでしょう。世界の至る所で行われている大きな議論は、この世の日々の経済的な問題についてです。今までのところ、神に会う備えをすることやわたしたちの霊の状態に焦点を当てた、キリ

ストが教えられた原則に立ち返る議論はほとんどありません。わたしたちの生活に焦点を当て、霊的な事柄をもっと頻繁に強調する必要があります。

義にかなった家族の報い

「教会の会員がほとんどいない地域、多くの悪や争い、また義に対する反対に取り囲まれている地域で家庭を築くべきでしょうか。」

妻のメアリーとわたしは1960年代後半にアメリカ合衆国カリフォルニア州のサンフランシスコ・ベイエリアで子供を育て始めたとき、そのような心配を抱えていました。末日聖徒の人口が比較的少なかったのです。しかし、そこに住むほとんどの人はすばらしい人々であった一方で、ベイエリアは薬物を常用する人、あらゆる不品行や罪深い行いをする人のたまり場になっていました。

社会の変化は、ベイエリアにとどまるように教会員を励ますべきかどうかを憂慮するステーク会長が教会の指導者に問い合わせるほど重大でした。当時、十二使徒定員会の前任会員であったハロルド・B・リー長老(1899-1973年)は、この問題について集会で話をする割り当てを受けました。リー長老は、会員がいなくなってしまう地域に神殿を建てるように主が靈感を与えられたのではないことを説明しました。わたしたちに対するリー長老の以下の勧告は、簡潔ながらも深い意味がありました。

1. わたしたちの心と家庭にシオンを築く。
2. わたしたちが住む地域の人々への光となる。
3. 神殿の儀式とそこで教えられる原則に焦点を当てる。

わたしたちはリー長老の勧告を尊重し、家庭でその勧告に従おうと努力しました。

わたしたちの心と家庭にシオンを築くためには、日々家族の祈りと聖文研究を行い、毎週家庭の夕べを開くことにより、家庭で宗教を実践することに重点を置く必要があります。このように行うことによって、わたしたちは子供を教え、しつけることができるのです。子供や伴侶に対する過度の批判を避け、愛と思いやりをもって行います。

住む場所にかかわらず、全てを正しく行ったとしても、禁じられた道につながる分別のない選択をする子供がいるかもしれません。このために、若い人たちが不適切な行いや不道徳な行いをするように求められたときに、言うべきことや行うべきことを前もって決めておけるように助けることが大切です。

我が家の子供たちは、末日聖徒の子供が2、3人しかいない学校に通っていました。それぞれの学年の始めや学校の活動の前に、わたしたちは、子供が困難な状況に立たされたときに取る適切な対応について家庭の夕べで話し合いました。友達から次のように言われたら何と答えるか、子供たちに尋ねました。「ばかなことを言わないでよ。みんなやってるよ。」「親には分からないさ。」「1回だけなら問題はないさ。」

子供が

イエス・キリストとその福音を
堅固な土台とするなら、
わたしたちは
世界のほとんど
どこに住んでいても、
義にかなった子供を
育てることが
できます。

わたしたちは、主に報告する責任について話し合いました。慎重な服装をしているとき、きれいで適切な言葉を使うとき、ポルノグラフィを避けるときにキリストの模範に従っていることになるかと指摘しました。これらのことを、初等協会の年齢の子供たちに今すぐ教える必要があります。子供たちが聖い生活をするのができるためです。

ポテパルの妻の不適切な誘いに直面したときに逃れたエジプトのヨセフについて話し合いました（創世 39：7－12 参照）。

子供たちはそれぞれ、少なくとも1回はこの準備が必要不可欠であったという経験をしましたが、たいていの場合、友達が我が家の子供たちの標準や信条を知っていたので、子供たちを守ってくれました。

娘のキャスリンが大学に行くために家を離れてから母親のメアリーに電話を掛けてきたとき、メアリーはいつも救い主について自分が大切にしている事柄を伝えたものでした。メアリーは絶えず主の模範と特質を使い、キャスリンが電話で相談してきた問題について助けを与えていました。



子供がイエス・キリストとその福音を堅固な土台とするなら、わたしたちは世界のほとんどどこに住んでいても、義にかなった子供を育てることができると、わたしは信じています。ニーファイは自分の家族と民を教えることについて説明し、こう言っています。「わたしたちはキリストのことを話し、キリストのことを喜び、キリストのことを説教し、キリストのことを預言し、また、どこに罪の赦しを求めればよいかを、わたしたちの子孫に知らせるために、自分たちの預言したことを書き記すのである。」(2 ニーファイ 25 : 26)

もしわたしたちがこのことを行うなら、子供が分別のない選択をしたとしても、全てが失われるわけではなく、家に帰る道を見いだせることを知るでしょう。主イエス・キリストを信じる信仰を通して家族の一人一人を強めようと努力するとき、皆さんと家族が祝福されることを約束したいと思います。

リー長老の勧告に従って、わたしたちが住む地域の人々への光となるなら、わたしたちの標準を隠すことはできないのです。わたしたちの行いは、自分の価値観と信条を反映しているべきです。適切であれば、公的な活動に参加するべきです。

神殿の推薦状を持つにふさわしく生活し、神殿の儀式を受け、聖約に忠実であることは、聖約の道にとどまる集中力と洞察力を与えてくれます。わたしたちの青少年が死者のためのバプテスマを執行するのにふさわしく生活するとき、その生活は望ましい状態になるでしょう。

義にかなった家族の報いを享受し、永遠の家族になれるように、キリストのことを語り、キリストのことを喜び、キリストのことを説教し、キリストのことを預言することによって、家族を強めることにわたしたちの勢力を集中する必要があります。

独身であっても義にかなった生活をしている人に対して、わたしたちの教義は以下のことを再確認しています。「この世において永遠の結婚と親になる祝福を受けられない状況にある忠実な会員は、神と交わした聖約を守っているかぎり、約束されたすべての祝福を永遠という時の中で受ける。」³

愛は、この世で
幸福になるために
一番大切な
ものです。



幸福の報い

「人生で幸福になり成功を収めるために、子供たちはどのような特質を備えるべきでしょうか。」

ルシフェルは見せかけの幸福、幻想の幸福を考え出しました。それは、義と調和することなく、気をつけていなければわたしたちを迷わせるものです。この世は幸福を間違って定義して追い求めているために、今日多くの問題が起こっています。わたしたちがモルモン書から理解しているのは、この問題は全ての世代にわたって存在してきたということです。わたしたちは戒めに従って生活することから得られる祝福についても知っています。

ベニヤミン王はこう述べています。「あなたがたは、神の戒めを守る者の祝福された幸福な状態についても考えてほしい。見よ、これらの者は物質的にも霊的にも、すべてのことについて祝福を受ける。そして、もし最後まで忠実であり続けるならば、彼らは天に迎えられ、決して終わりのない幸福な状態と神とともに住めるのである。おお、これらのことが真実であることを記憶にとどめ、覚えておきなさい。主なる神がこれを言われたからである。」(モーサヤ 2 : 41)

わたしは何年にもわたって、1930年代に始まった調査プロジェクトに注目してきました。当初、その調査は、ある一流大学で男性 268 人を対象とし、その全生涯にわたって定期的に行われました。後に、女性も調査対象となりました。調査は約 70 年掛けて行われました。成功と幸福についてできるだけ多くのことを見つけ出すのが初期の目標でした。

調査では、大学入試の点数や成績の平均点からはその後の人生の成功や幸福を予測できないということが分かりました。しかし、高い関連性を示した一つの

分野は、子供時代における家族の幸福でした。幸せて成功を取めている成人は通常、特に母親が愛情や優しい思いを言葉で表現し、乱暴なしつけをしなかったと報告しています。両親はどちらも、実際に分かるように愛情を示し合い、子供にとっては時間を割いてくれる近づきやすい存在で、子供と温かく、感情を表現できる関係を築いていました。親は安定した家庭環境を作り、子供の独自性を尊重していたようでした。

2012年に出版された調査の最終報告にはこう記されています。「生涯にわたる成功要因の多くは、幼年期の経済的、社会的優位性よりも、愛された、愛情深い幼年時代を過ごしたかどうかにかかっているとされる。」知能、社会階層、スポーツに対する熱心さよりも、心温まる幼年時代がその後の功績に関係しています。さらに調査では、「幼年時代に失敗したことよりも、うまくいったことが、将来の成功にはるかに寄与している」ことも分かったのです。⁴

この調査は全体として、非常に困難な問題があったり、うまくいかないことがあったりしたときでさえ、ほとんどの子供はすぐに立ち直り、親、特に母親との愛ある関係によって築かれた信頼感が生涯にわたって続く幸福をもたらすことを示しています。わたしにとって興味深かったのは、驚きではありませんでしたが、この調査が聖文や教会が家族について教えているこ

とと完全に一致していることでした。教会は、家庭の夕べ、家族の祈り、愛を表現すること、家族の一致、家族の伝統を強調しています。この調査が示しているのは、まさにそのような類いの活動が、幸福で成功する成人を育てるとのことなのです。

ニーファイは、モルモン書の最初に「善い両親」への感謝の言葉を記しています(1ニーファイ1:1)。しかし、その本当の教訓は、わたしたちの子孫も善い両親から生まれたと幸いにも語れるように、わたしたちがそれぞれどのような親になるかを定めることなのです。

皆さんができる最も大切なことは、皆さんの子供や皆さんが育てる人たちが、皆さんから愛されていることを確実に理解できるようにすることです。愛は、幸福になるために一番大切なものです。

地に栄える報い

「わたしたち家族は、経済的には大きな成功を取めているわけではありません。それは、わたしたちが十分に義にかなっていないからでしょうか。」

聖文は、戒めに従って生活すると地に栄えることを明らかにしています。しかし、地に栄えるとは、銀行口座の残高で定義されるものではないことを断言します。そこにはもっと深い意味があります。

預言者アルマは息子ヒラマンに教えてこう言いました。「神の戒めを守るかぎり地に栄えることを、わたしが知っているように、あなたも知らなければならぬ。また、神の戒めを守らなければ神の御前から絶たれるということも、あなたは知らなければならぬ。」(アルマ 36:30)

このように、生活に御霊を保つことは、地に栄えるための基本的な要素です。戒めを守るなら、ある特定の約束がわたしたちにも与えられます(エペソ 6:1-3 参照)。例えば、教義と聖約第 89 章は、知恵の言葉に従って生活することにより、わたしたちは健康の祝福を享受し、知識の大いなる宝を見いだすと約束しています。

アルコール飲料を避けるという知恵の言葉の一つの要素を取ってみても、そこから多くのことを学べます。



この世における
まことの繁栄は、
救い主を愛し、
救い主に仕えながら
家族を養うという
バランスを取ることから
得られます。



義の究極の報いは

「この世において平和を、
また来るべき世において
永遠の命を受けるといこと」です。

先ほど話した長期に及ぶ調査により、アルコール飲料の弊害は、アメリカの3分の1の家庭に及び、総合病院の入院患者の4分の1に関係し、死亡、離婚、不健康、意欲減退の主要な原因となっていることが分かりました。

カルフォルニアにおける活発な教会員に対する長期の調査では、比較の対象となるアメリカ合衆国の男女に対して、教会員は平均して女性が5.6歳、男性が9.8歳長生きしていることが報告されています。この調査を行った医師は、少なくとも一つの理由は、知恵の言葉を忠実に守っていることであると述べています。知恵の言葉に従って生活することにより、わたしたちは地に栄えているのです。⁵

神殿の奉献式に向かう飛行機でわたしがゴードン・B・ヒンクレイ大管長（1910 - 2008年）と交わした会話の中で、大管長は、末日聖徒が地に栄えているので教会には神殿の数を増やすための資金があります、とうれしそうに話していました。会員たちが忠実に什分の一しじゅうぶんを納めているので、神殿を建設する資金が蓄えられているのです。

栄えることと裕福であることは、必ずしも同じ意味ではありません。地に栄えるという言葉の非常に良い福音上の定義は、生活に御霊の豊かな祝福があると同時に、わたしたちの必要を満たす物が十分にあるということです。家族を養い、救い主を愛し、救い主に仕えるとき、わたしたちは御霊を受けて地に栄えるという報いを享受することでしょう。

平和の報い

義に約束された究極の報いが、教義と聖約 59:23 に次のように明確に述べられています。「しかし、義の業を行う者はその報いを受ける、すなわち、この世において平和を、また来るべき世において永遠の命を受けるといことを知っておきなさい。」

35年以上前に、キンボール大管長は、教会の中に大きな発展が起こると教えました。それは、多くの「善良な女性たち……が大勢教会に引き寄せられる」からです。キンボール大管長はこう宣言しました。「これがどの程度の規模になるかは、教会の女性たちがどの程度まで義を反映した生活を送り、自分をしっかりと表現できるか、また……世の中の女性と良い意味で区別され、異なって見られるかによって決まるでしょう。」⁶


このことは今実際に起こっており、将来にわたって続くことでしょう。

主なる神は、実に、日であり、盾であり、恵みと誉れとを与えられる御方です。直く歩む者に良い物を拒まれることはありません（詩篇 84:11 参照）。わたしたちの主であり救い主であるイエス・キリストに忠実に従うことにより、皆さんが義の報いを刈り取ることができるように祈ります。■

2014年5月2日にブリガム・ヤング大学における女性の大会で行われた説教「義の報い」(“The Rewards of Righteousness”)から

注

1. スペンサー・W・キンボール「偽りの神々」『聖徒の道』1977年8月号、351参照
2. レーン・アンダーソン *Deseret News*, “The Instagram Effect: How the Psychology of Envy Drives Consumerism,” 2014年4月15日付、C7参照
3. 『手引き 第2部——教会の管理運営』(2010年) 1.3.3。十二使徒定員会会長であるボイド・K・バッカー会長は、2014年4月の総大会の話の中でこのことを再確認している。「証人」『リアホナ』2014年5月号、94 - 97
4. ジョージ・E・バイラント *Triumphs of Experience: The Men of the Harvard Grant Study* (2012年)、108 - 109
5. ジェームズ・E・エンストロム、レスター・プレスロー、*“Lifestyle and Reduced Mortality among Active California Mormons, 1980 - 2004,”* *Preventive Medicine* 46 (2008年)、135参照
6. 『歴代大管長の教え——スペンサー・W・キンボール』224

A man and a woman are walking away from the camera on a set of railroad tracks that stretch into the distance. They are holding hands, and the woman is on the left track while the man is on the right track. The scene is set against a dramatic sunset sky with warm orange and yellow light. The tracks are made of wooden ties and metal rails, with gravel between them. The overall mood is one of partnership and shared journey.

宗教と政府は
それぞれ異なった道を歩みながらも、
並行して進んでいます。
宗教と政府が互いを守り励ますとき、
最も効果的に働き、最も大きな成功を
収めることができます。

七十人
ウィルフォード・W・
アンダーセン長老



宗教と政府

宗教と政府は、同居して苦勞することがあっても決して別れることができない夫婦のようです。宗教と政府は両方とも繁栄するために独立している必要があります。しかし、完全に離婚してしまうとどちらも健全ではいられないことは、これまでの歴史が証明しています。宗教と政府は異なる道を歩みながらも、並行して進んでいるのです。宗教と政府が互いを守り励ますとき、最も効果的に働き、最も大きな成功を取めることができます。

宗教の自由を守り維持し、社会における教会の役割を促進するうえで、政府は不可欠な役割を果たします。幸い、今日、世界のほとんどの政府が少なくともある程度の宗教の自由を認め、自らの良心の命ずるままに礼拝し、宗教上の教えを実践する権利を市民に与えています。しかし過去においては、常にそうだったわけではありません。

多くの世代の人々が、政府によって国教を強要されたために宗教の自由が失われるのを目にしました。また、政府が宗教そのものを禁止したために道徳が荒廃するのを経験した人もいます。今日の世界において、ますます多くの国において宗教的信条とその実践が憲法によって擁護されていること、また政府とは分離しながらも、迫害から守られるべきであると定められていることに、わたしたちは感謝しています。¹

モルモン書には神の靈感を受けた政府について記されていますが、ここでも宗教的な信仰と実践の自由が人々に保障されていました。

「そこで、もし人が神に仕えたいと思うならば、神に仕える特権があった。いや、その人が神を信じるならば、神に仕える特権があった。しかし、たとえ人が神を信じなくても、その人を罰する法律はなかった。……

人々は罪科に応じて裁かれるという法律があったからである。にもかかわらず、人の信教に反対する法律はなかった。」(アルマ 30：9 - 11)

わたしたちは信仰を持つ民として、政府の守りがあることにより、自分たちが望むままに宗教的信条を大切にし、実践できることに感謝すべきです。

宗教の重要な役割

善良で効果的な政府を維持し促進するうえで、宗教と道徳が重要な役割を果たすことは、あまり認識されていないかもしれません。今日の世が直面する重大な問題を考えるとき、その多くに対する唯一の真の解決策は、政治的な方法でも経済的な方法でもなく、霊的な方法です。例えば、人種差別や暴力、憎悪に起因する犯罪は霊的な問題であり、唯一の解決策は霊的な方法なのです。十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は次のように教えています。

「西洋社会の最も重要な道徳的発展の多くは、宗教的原則によって触発され、説教壇からの訴えによって公式に取り入れられてきました。英国における奴隷貿易の廃止や、[アメリカ合衆国]における奴隷解放宣言はその一例です。この半世紀の公民権運動についても同様です。」²

社会に道徳的な秩序を確立できるかどうかは、宗教や教会によるところが大きいのです。道徳、人格、そして信仰の欠けた社会が生み出す犯罪者を全部収容できるだけの

刑務所を建てることは決してできません。これらの特質は、法律や警察よりも、宗教的な戒めを順守することによって、よりよく育まれるのです。人の心から生じる考え方や望み、希望を政府がコントロールすることは不可能です。しかし、そのような種はやがて生長し、政府が規制しなければならない行動を生みます。

フランスの歴史家であり、政治家であったアレクシス・ド・トクビルは次のように書いています。「専制政治は信仰がなくても治められるかもしれない。しかし、自由はそうではない。」³ とは言え、専制政治でさえも、信仰のないままいつまでも治めることはできません。ロシア連邦初代大統領であったボリス・エリツィンは次のように語っています。「武力によって王座を築くことはできる。しかしそこに坐することは難しい。」⁴

山上の垂訓の中で、イエスは書物に記された律法と心に記された律法を対比されました。

「昔の人々に『殺すな。殺す者は裁判を受けねばならない』と言われていたことは、あなたがたの聞いているところである。

しかし、わたしはあなたがたに言う。兄弟に対して怒る者は、だれでも裁判を受けねばならない。』(マタイ5:21-22)

政府は、書物に記された法律を施行しますが、宗教は心に記された律法を守るように励まします。後者を守る者が、前者を破ることは滅多にないでしょう。教義と聖約には次のように書かれています。「神の律法を守る者は、その地の法律を破る必要がないからである。」(教義と聖約58:21)。

しかし、心の問題が無視されると、基本的法原則と法的な政治機構はやがて立ち行かなくなります。大多数の人々が、法律や警察の権力によって強制されてではなく、そうすべきだと信じるという理由で道徳的なことを行うとき、社会の礼節は守られます。

政府は市民の行いを監視し、正しく、道徳的な方法で行動するように促します。一方、宗教は人々に、正しく道徳的な行動をしたいという望みを抱かせようとします。アメリカ合衆国のドワイト・D・アイゼンハワー大統領の農務長官を努めたエズラ・タフト・ベンソン大管長は、最も重要な違いについて次のように教えています。



宗教的信条が及ぼす大きな影響

「我々の社会は単に法律とその執行によって保持されているわけではありません。強いられてでなく、内なる義の規範や義にかなった行動によって進んで従う人々によって社会が一つに保たれているということが最も重要なのです。善悪に関する宗教的信条は、多くの市民が自ら進んで法律を順守しようとする姿勢を作り出すうえで非常に重要な影響力となります。」

十二使徒定員会会員のダリン・H・オークス長老、
"Strengthening the Free Exercise of Religion",
2013年5月16日、1; ニューヨーク・シティで行われた宗教の自由ベケット基金カンタベリー勲章記念夕食会における講演
mormonnewsroom.org で視聴可能



「主は心の内側から外側に向けて働きかけられますが、この世は外側から内側に向けて働きかけます。この世は貧民街から人々を連れ出そうとしますが、キリストは人々から悪や汚れを取り去り、自分自身で貧民街から抜け出られるようにされます。この世は環境を変えることによって人間を形成しようとしませんが、キリストは人々を変え、それによって彼らが自らの手で環境を変えられるようになります。この世は人の行動を変えようとしませんが、キリストは人の性質を変えることができになるのです。」⁵

やがて、全ての自由な政府は、市民の自主的な善良さと支援に完全に依存することでしょう。歴史に残る政治家であり、政治哲学者であるエドマンド・ブルケはこう言いました。「事物に関する永遠の法則に定められているのは、不摂生な行いをしている限り、人は自由にはなれないということである。彼らの熱情は自分の足かせを作り上げる。」⁶

これを防ぐために、良い政府は宗教を守り、宗教の自由を養うのです。また良い宗教は人々に善い市民となるように促し、その地の法律を順守するように励まします。

良い政府は一つの宗教に加担する必要はありません。ある宗教を他の宗教よりも厚遇するべきではありません。政府の代表者は自由に良心の赴くまま、何を信じ、何を実践してもよいとされるべきです。同様に、良い宗教はいずれの

わたしたちは

論点や候補者について慎重に検討し、
誠実に行動すると思われる人に
投票するように勧められています。

政党、いずれの候補者をも推すべきではありません。そして、信者は自由に政治活動に参加し、自分が最良だと考える政党や候補者を支持することができるだけでなく、むしろそうするように勧められなければなりません。

意見を表明する

教会は組織として、これまでも繰り返し政治的な中立の立場を表明してきました、末日聖徒は政治活動に参加し、公共の討論に自らの声を反映させるように勧められています。どこに住んでいようとも、善良な市民であることはわたしたちの宗教の一部です。

『手引き 第2部 —— 教会の管理運営』には次のように記されています。「会員は、それぞれの政府の法律に従って、有権者登録（訳注 —— 日本には該当しない）をし、論点や候補者を慎重に検討し、また誠実に正しい判断力をもって行動すると思われる人に投票するように勧められている。末日聖徒には、正直で、善良で、賢明な指導者を探し求め、投票し、支持する特別な義務がある（教義と聖約 98：10 参照）。」⁷

いつの日か救い主が再びおいでになります。主は、王の王として、そして大いなる大祭司として、統治し支配する権利をお持ちです。そして、政府の権限と神権の権能は一つに合わされます。

その大いなる日が来るまで、宗教と政府は手を取り合って互いの独立性を尊重し、それぞれが果たす不可欠な貢献に感謝しながら、人類の歴史の道を歩まなければならないのです。■

注

1. W・コール・ダーラム・ジュニア、シルビオ・フェラーリ、クリスチアーナ・チアニット・ドンル・テイヤー編 *Law, Religion, Constitution: Freedom of Religion, Equal Treatment, and the Law* (2013年)、3-5 参照
2. ダリン・H・オークス "Strengthening the Free Exercise of Religion," 2013年5月16日、1: ニューヨーク・シティーで行われた宗教の自由ベケット基金カンタベリー勲章記念夕食会における講演 mormonnewsroom.org で視聴可能。
3. アレクシス・ド・トクビル *Democracy in America* 全2巻 (1835 - 1840年)、第1巻、306
4. ボリス・エリツィン、ドナルド・マレーの *A Democracy of Despots* (1955年) 8の中で引用
5. エズラ・タフト・ベンソン「神によって生まれる」『聖徒の道』1989年10月号、5
6. エドマンド・パーク *A Letter from Mr. Burke, to a Member of the National Assembly; in Answer to Some Objections to His Book of French Affairs*, 第2版 (1791年) 69
7. 『手引き 第2部 —— 教会の管理運営』(2010年)、21.1.29

カンニングはしません

大学1年のとき、クラスの人たちを見てがっかりすることがよくありました。多くの学生が試験でカンニングをしていたからです。カンニングペーパーをクラスにこっそり持ち込む人もいれば、テストの答えを誰かに携帯で送る人もいました。クラスメートの答えを書き写す人まで何人かいたのです。

カンニングをした人たちは、いつもわたしよりいい点を取りました。それでもわたしは、そういう人たちの仲間に入ろうとは思いませんでした。不正で100点を取るより正直に書いて0点を取る方がいい、と自分の思いと心に言い聞かせていたのです。

カンニングなどしたら、クラスメートに模範を示していることになりません。イエス・キリストの福音を伝えられるような生き方をしていないことになってしまいます。教会は真実だということを示していることにはならないのです。

ある日の午後、学費の支払いがあとどれくらい残っているかを確認するために、大学の会計課事務所に向かいました。授業料を全額納めていないと、次の週の学期末試験が受けられないのです。必要なお金をどうやって工面しようかと、歩きながら不安になりました。わたしのように自分で学費を稼いでいる学生には、経済的な余裕がありません。

事務所に着くと、学費の支払いはあとどのくらい残っているか尋ねました。

すると、「あなたは卒業まで払い込む必要はありません」という答えが返ってきたのです。

わたしは驚いて、真面目にそう言っているのか、それともからかっているのかと聞き返しました。

すると、「もちろん、冗談ではありませんよ」と言います。「あなたが上院議員の奨学金を受けられるように、学生カウ

ンセラーが申請手続きをしたんです。あなたは奨学生になったのですよ。」

この言葉を聞いて、わたしはとてもうれしくなりました。窓口の女性に感謝の言葉を言うと、学生カウンセラーの事務所に走って行き、奨学金の担当者にお礼を言いました。

どんなに感謝しているか、どんなに幸せを感じているかを伝えると、担当者はこう言いました。「わたしに感謝する必要はありませんよ。わたしはただ書類を処理しただけですから。」

事務所を後にしながら、わたしがいつも喜んで人に伝えている聖句が心に浮かんできました。「終わりの日に、わたしの名に忠実であると認められる者は幸いである。そのような者は高く上げられて、世の初めから用意されている王国に住むであろう。見よ、これを語ったのはわたし〔イエス・キリスト〕である。」(エテル4:19)

わたしは不正直な行いがまかり通る状況にあっても正しいことを行うことによって、天の御父の戒めを忠実に守っていることを示してきました。自分の信仰にしっかりと立っているならば、主は決してわたしをお見捨てにはなりません。

学費の心配をすることなく勉強できるようになって、わたしは幸せです。また、これを励みに、これからも正しいことを行おうと思うようになりました。それは報いや祝福が受けられるからではなく、わたしに模範を見せてくださる天の御父と御子イエス・キリストを愛しているからなのです。■

ジョアンナ・マエ・ランガ(フィリピン、南レイテ)

カンニングをしたクラスメートたちは、いつもわたしよりいい点を取りました。それでもわたしは、そういう人たちの仲間に入ろうとは思いませんでした。





自分の結婚する日が来たら
母のウエディングドレスを着たい、と
心から思いました。

母のウエディングドレス

初めて母のウエディングドレスを見たのは、子供の頃です。丁寧に包んで、箱に入れてありました。母がそっと包みを開けて見せてくれたのを覚えています。何ときれいだったことでしょう。自分の結婚する日が来たらこのドレスを着たい、と心から思いました。

母は元の箱に大切にしまい込むと、将来わたしに貸すと約束してくれました。そのドレスはわたしの父からの特別なプレゼントだったと母は教えてくれました。結婚のときの写真を見ると、母はとても愛にあふれていてきれいでした。両親は教会員ではありませんが、素晴らしい人たちです。

わたしが教会について知ったのは、後に夫となる男性に出会ったときでした。夫との出会いは不思議でした。夫は教会にあまり熱心に通っていませんでしたが、わたしと出会ったことによって、最初の示現の話と一緒に聞くことになったのです。最初の示現は驚くべき話だとわたしは思いましたが、それを受け入れる心の準備はできていませんでした。

16か月の交際を経て、夢が実現しました。わたしは裾に長いトレーンのついた母のウエディングドレスを着て通路を歩き、花婿のところまで行ったのです。わたしも母と同じように夫を深く愛していました。結婚した当時の母とそっくりだと、たくさんの人から言われました。

時がたち、息子が二人生まれました。夫は教会に戻ろうとしましたが、わたしは反対しました。若い頃通っていた教会にわたしは熱心なわけではなかったのですが、別の教会を受け入れる気にはなれなかったのです。

結婚して19年後、その気持ちがいかに変わりました。夫は教会に戻り、2、3週間後にわたしは夫と一緒に教会に行くようになりました。証は急速に成長し、わたしはバプテスマと確認を受けたのです。間もなく、何よりも、神殿で夫と結び固められたいと望むようになりました。

夫と結び固められる日が来ると、また、母の真っ白なドレスを着ました。神殿で着られるように、教会員の友達

が手直してくれたのです。以来、神殿ではそのドレスを着ています。

父が亡くなり、母も余命僅かとなったとき、母にはまだ、回復された福音を受け入れる用意ができていませんでした。でも、わたしは、回復について素晴らしい話をたくさん母に聞かせてあげました。幕のかなたに行けば、母もこの真実の福音のメッセージを聞くことになるとも話しました。1年たったらあのドレスを着て母の身代わりになり、神殿の儀式と父との結び固めを代理で受けると母に約束しました。そして、わたしはそのとおりにしたのです。

ドレスは今では古くなりました。そのうち着られなくなる日が来ることは分かっています。その日が来るまで、愛を込めてこのドレスを着ます。夫のため、母と父のため、代理となって奉仕する一族のために着るのです。それは真の福音のためであり、わたしが交わした聖約のためであり、天の御父と御子イエス・キリストのためなのです。■

アンヘリカ・フロレス・アルガバ
(メキシコ、ケタロ)

主はわたしに平安を告げられた

娘のカーリーが何日か具合が悪かったのですが、わたしはただ風邪を引いただけだと思っていました。ところが容体は悪くなり、もっと深刻な病気かもしれないと考え始めました。

医師の診察を受けてみると胸騒ぎは的中し、恐れはさらに強くなりました。カーリーは1型糖尿病だったのです。カーリーは糖尿病性昏睡状態に陥り、緊急入院する必要がありました。わたしは冷静になれるように、そして医師がカーリーを助けることができるようにと、心の中で祈りました。

緊急処置室に着くと、医師と看護師はカーリーを救うためにきばきと働き始めました。わたしは慰めと平安を求めて天の御父に祈りました。

静けさの中、夫と義父がカーリーに祝福を与えました。祝福の中で夫は、カーリーが生きることは主の御心だと言いました。わたしは平安を感じ始めました。

それから数時間、わたしは医師がカーリーをつついたり検査したりして

回復状況をチェックするのをじっと見ていて、疲れ切ってしまいました。午前1時頃には病室への人の出入りもほとんどなくなりました。わたしはどうしていいか分からず、眠ることもできず、孤独でした。

姉が病院に持って来てくれたモルモン書を取り出すと、わたしに必要な平安が聖典から得られますように、と祈りました。たまたま開いたのがアルマ36章3節のページでした。読むと、主がわたしに語り掛けておられるように感じました。「神に頼る者はだれであらうと、試練や災難や苦難の中にあって支えられ、また終わりの日に高く上げられるということをわたしは知っているからである。」

その晩、わたしは2度目の平安を感じました。天の御父はわたしたちのことを御存じです。御父は御自分がそばにおられることと、御父に信仰を持つ必要があることをわたしに知ってほしいと思っておられます。

その日の出来事を思い起こし、主が

いかに祝福してくださってきたかを考えました。わたしはカーリーをすぐさま医者に診せなければならぬと感じました。病院に無事に到着しました。神権者がすぐにやって来て祝福を施してくれました。

その日以来、わたしたちは定期的に血糖値を測り、いつも間食を準備しておくようにしています。糖尿病の管理がどれほどの影響を体に及ぼすかを学んだのです。カーリーの病気は相変わらず試練ではありますが、天の御父に日々頼らなければならないことをわたしたちは学びました。

病院で過ごしたあの日のようなことは二度と起こってほしくありませんが、この出来事にわたしは永遠に感謝します。あの日わたしは学び、信仰を働かせ、感謝の気持ちを感じました。天の御父が御自身の子供たちを一人一人御存じで、試練のさなかに本当に助けてくださることを知りました。■

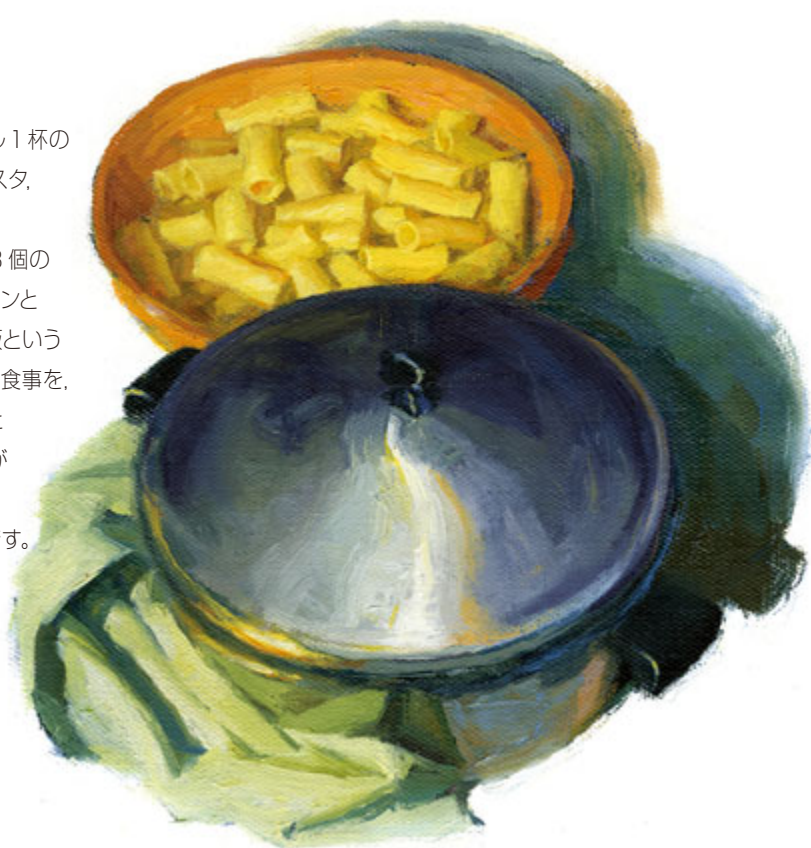
トリッシャー・トンキンソン・リグズ
(アメリカ合衆国、アリゾナ州)

緊急処置室に
着くと、
医師と看護師は
カーリーを救うために
てきばきと
働き始めました。



ボウル1杯の
パスタ、

それに
我が家の8個の
小さなチキンと
一鍋のご飯という
ささやかな食事を、
大人9人と
子供8人が
分け合って
食べるのです。



小さな8個のチキン

夫が一時的に失業していたので、育ち盛りの子供を5人抱える我が家はお金のやりくりで苦労していました。2013年10月の総大会放送の前日、わたしたちは食材をチェックし、フライドチキンと御飯という簡単な昼食を作って部会の合間に食べることにしました。

日曜日になり、わたしたちは昼食を用意しました。放送の30分前に、両親や妹たち家族と、ステーキセンターに集まりました。

預言者、聖見者、啓示者が、特に現代のわたしたちに向けて話す言葉を聞くことができたのは、何という喜びであり、祝福だったことでしょう。その勧告に耳を傾け、天の御父から感じる平安と愛のすばらしい御霊に浸っていると、全てのことがうまいいき、引き続き信仰を働かせて救い主に導いていただければ、霊的にも物質的に

も我が家に必要なものが与えられ、貧困その他の不遇に陥ることはない、という確信を得ました。

安息日の心地よい御霊を味わって、わたしは昼食のことを忘れていました。次の部会までの休み時間になって初めて、全員で17人いることに気がつきました。妹たちの一人が持ってきたボウル1杯のパスタ、それに我が家の8個の小さなチキンと一鍋の御飯というささやかな食事を、大人9人と子供8人が分け合って食べるのです。

8歳のヘンリーが感謝の祈りをささげ、食物を祝福して、皆がおなかいっぱい食べられますように、とお願いしました。祈りが終わると、わたしは8個のチキンをさらに小さくちぎって子供たちに配り、妹はパスタと御飯を銘々の皿に取り分けました。チキンを全部ちぎり、パスタと御飯を分けると、

少しずつですが全員に行き渡り、しかも一人分余ったのです。それが分かったとき、わたしはあふれる涙を止めることができませんでした。こうしてわたしたちは全員が食べて満たされたのです。

救い主は確かに5個のパンと2匹の魚を分けて「女と子供とを除いて、おおよそ五千人」に食べさせられたのよ、わたしにはそれが分かる(マタイ14:14-21参照)、と両親と夫に言いました。批判的な人や信仰のない人は、この奇跡は寓話だとか、大げさだとか、不可能だとか言います。しかし、わたしの家族とわたしにとって、この話はまさに書いてあるとおりのことです。

感謝をささげ、皆が食べて満たされ、栄養を取ることができるようにという忠実な子供の祈りを、天の御父は聞き届けてくださいました。

総大会の話を書くためにホールに戻ると、わたしの心は強い御霊であふれんばかりになっていました。イエスが群衆に食べ物をお与えになった場にいたい、耳を傾けて聞かなければ決して飢えることも渴くこともないと約束してくださった主のもとにいて主から学びたい、と強く思いました(ヨハネ6:35参照)。

わたしたちは子供たちと一緒に静かに礼拝堂に腰掛け、天の御父の選ばれた僕たちの話に耳を傾けました。このときのことを、わたしたちはずっと忘れないでしょう。■

アピガイル・アルメリア(フィリピン、セブ)

活気と活力

に満ちて



ランドール・A・ライト

個人の啓示を受けるにはどうしたらよいか友人が尋ねてきたとしましょう。一つだけ挙げるとしたら、それはどのような方法でしょうか。

マリオン・G・ロムニー長老（1897 - 1988年）は中央幹部に召されたばかりの頃、その重要な召しを果たす力が自分には不足していると感じ、友人である十二使徒定員会のハロルド・B・リー長老（1899 - 1973年）に助言

を求めました。ロムニー長老はその日与え

られた助言に驚くとともに意欲が湧きました。リー長老はこう言ったのです。

「中央幹部として成功したいのなら、靈感を受ける必要があります。また、啓示を受ける必要があります。一つお勧めしたいことがあります。夜は早く休み、朝は早く目を覚ますようにしてください。そうするなら、肉体と精神に休息を得るでしょう。また、早朝の静かな時間に、他のどの時間よりも多く知恵と靈感のひらめきを受けることでしょ。」

何年もたって、大管長会顧問となっていたロムニー管長はその経験を振り返り、こう述べています。「そのときから、わたしは受けた助言を実行に移しました。確かに、この助言には効き目があります。重大な問題があるとき、あるいは創意工夫の必要な割り当てに関して御霊の導きを受けたいと望むときにはいつでも、必ず早朝に、より多くの助けを受けます。他のどの時間帯よりもです。」¹

この話を初めて読んだとき、わたしもリー長老の助言に驚きました。早起きを啓示と結びつけて考えたことはありませんでした。しかし、今はその二つが直接関連しているということがよく分かります。また、祈りや聖文学習、断食、神殿参入、奉仕など、啓示を受けることと関連するとされてきた行いは、早寝早起きにより大いに向上することも分かりました。

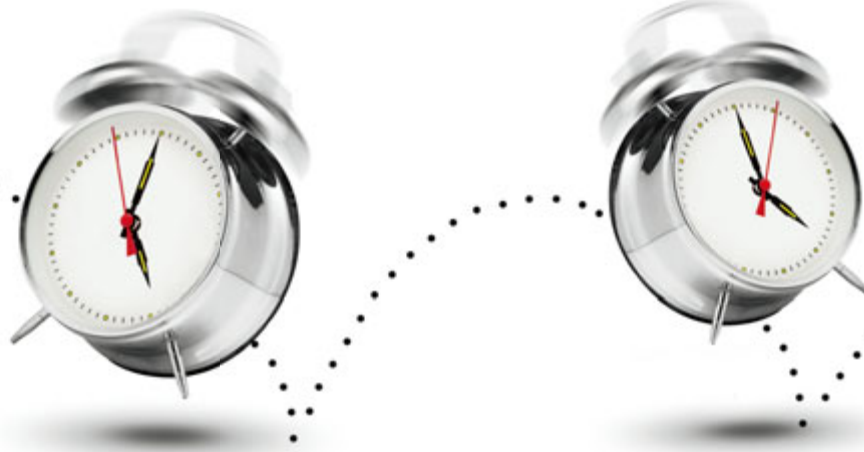
聖典に見られる例

あらゆる時代の靈感あふれる男女は、神から与えられた、睡眠に関するこの勧告に従ってきました。「アブラハムは朝早く起き、さきに主の前に立った所に行っ〔た。〕」（創世19:27、強調付加）「モーセは……朝早く起きて、主が彼に命じられたようにシナイ山に登った。彼はその手に石の板二枚をとった。」（出エジプト34:4、強調付加）「翌朝ヨシユアは早く起き、祭司たちは主の箱をか〔いた。〕」（ヨシユア6:12、強調付加）

主は地上で務めを果たしていたとき、どのように一日を始められたのでしょうか。マルコによる福音書にはこう記されています。「朝はやく、夜の明けるよほど前に、イエスは起きて寂しい所へ出て行き、そこで祈っておられた。」（マルコ1:35）献身的な弟子であったマリヤが主の模範に倣って行ったことは、力強い教訓を示しています。「さて、一週の初めの日に、朝早くまだ暗いうちに、マグダラのマリヤが墓に行くと、墓から

常に一貫して
きっちりと守ると、
より健康になり
活力と靈感を
さらに得られる習慣は
何でしょうか。

.....



石がとりのけてあるのを見た。」(ヨハネ 20:1) マリヤは早朝に、復活された主を見た最初の人となったのです。

早起きのもたらす祝福

現代の偉大な指導者たちも早朝を活用して啓示を受けています。少し前のこと、七十人第一委員会のある会員がステーキ大会で自分は早起きだと話すのを聞きました。集会後、わたしは彼の早朝の習慣について彼と少し話してから、大管長会と十二使徒定員会のうち何人が同じような日程に従っているか尋ねました。すると、「全員ですよ」と彼は言いました。強烈な瞬間でした。そして、御霊はわたしに、早寝早起きは確かに啓示を受けることと結びついていると証してくださいました。

睡眠に関する主の勧告に従う人には、他にも祝福が約束されています。次のすばらしい約束について考えてください。「必要以上に長く眠るのをやめなさい。疲れることのないように、早く床に就きなさい。あなたがたの体と精神が活気づけられるように、早起きをしなさい。」(教義と聖約 88:124, 強調付加) 「活気づける」とは、「活気と活力で満たす」という意味です。

古代の哲学者アリストテレスは、早起きの他の利点を指摘しています。「夜明け前に起きることはよいことである。そのような習慣は、健康と富と知恵をもたらす。」² 合衆国の初期の政治家、ベンジャミン・フランクリンは後にこの概念を言い換え、有名な格言となりました。「早寝早起きは、人を健康、富裕、賢明にする。」³ 多くの人は、健康と富と知恵を人生で最も好ましいものとして捉えています。

健康

アメリカの最高経営責任者の平均年齢は 55 歳です。⁴ ある国際組織の CEO が 97 歳の男性だとしたらあなたは驚きますか。さらに、その高齢の CEO が今も世界中を巡って

講演を行い、指導者を訓練し、政府高官と話し合い、主要な報道機関の取材を受けているとしたら、どう思うでしょうか。その補佐が 79 歳と 87 歳で、とても精力的に活動しているとしたらどうでしょう。ゴードン・B・ヒンクレー大管長 (1910 - 2008 年) が大管長として在任していた期間の終盤は、まさにこのような状況でした。早寝早起きは、教会指導者の長寿の要因の全てではないにしても、要因の一つと言えます。

ブリガム・ヤング大学の元学長アーネスト・L・ウィルキンソンは、早寝早起きは健康に役立つと指摘し、教会の当時の大管長、デビッド・O・マッケイ大管長についてこう述べています。「マッケイ大管長がこの年齢で、これほどまでに善良で、成熟した、活気あふれる生活を送っている理由の最たるものは、若い頃から早く寝て、たいてい日が昇る前に早起きし、頭がすっきりしていて肉体に活力があるときにその日の務めを行うという習慣を身につけていたためだとわたしは確信しています。」⁵

早寝早起きと、精神的健康および情緒的健康との関連性についても指摘されています。十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老はこう述べています。「打ちひしがれ、虐げられていると感じている方々に申し上げます。助けが得られるという期待を持って朝を待ってください。」⁶

知恵

睡眠のパターンと知恵との関連性は単なる学説にとどまりません。ブリガム・ヤング大学の研究者が行ったある調査から次のことが分かりました。「遅く寝て翌日遅く起きる習慣のある学生は、早く寝て早く起きる習慣のある学生に比べて成績が低い。起きるのが遅いほど成績が低くなる傾向がある。あらゆる要因を精査した結果、週日および週末の起床時間が学生の成績と最も相関関係が強いことが分かった。週日の平均起床時刻が 1 時間遅れるごとに、成績平均点



(0.0 - 4.0 で評価) は 0.13 低下する。』⁷

少し前に、わたしは末日聖徒の大学生 203 人に対して睡眠パターンについてアンケート調査を行いました。学生たちは学校のある日には平均的に午前 7 時 30 分に起床し、週末には午前 9 時 15 分に起床していました。平均就寝時刻は、学校のある日は夜 12 時で、週末は午前 1 時でした。この学生たちは、早寝早起きが知識の習得につながるという研究結果とは真逆の生活をしていたのでした。早寝早起きすると成績が上がるという調査結果は、単純すぎて信じがたいかもしれません。わたしたちは、「その方法が単純であったため」主が授けてくださった治療方法に従わなかったイスラエルの子らようになってしまったのでしょうか (1 ニーファイ 17:41。ヒラマン 8:14 - 15 も参照)。

十二使徒定員会会長であるボイド・K・パッカー会長の、知恵を得ることに関する勧告について考えてください。「わたしは子供たちに次のように勧めています。すなわち、重要な学習は、肉体的な弱さや精神的な疲労と格闘しなければならない夜ではなく、頭がさえ、鋭敏な早朝に行くよう勧めています。わたしは『早寝早起き』という金言の持つ力を学んできました。』⁸ これは、専任宣教師が早寝早起きのスケジュールに従って生活する理由の一つかもしれません。

他の祝福

七十人名誉会員のジョー・J・クリステンセン長老はバーバラ夫人と共著した書物の中で、睡眠に関する主の勧告に従う人たちにはさらに多くの祝福があると記しています。「早く床に就き、早く起きなさいという勧告には優れた理由があるはずです〔教義と聖約 88:124 参照〕。……朝の世界はより美しく、穏やかな時間が流れます。より少ない時間でより多くを成し遂げることができます。』⁹ クリステンセン長老はブリガム・ヤング大学のファイヤサイドの説教でさらにこう述べています。「皆さんの中には、必要なだけ休養を取って

いない人がいます。遅く就寝して、肉体が必要としている以上に長く眠っているために、受けられるはずの個人的な靈感を受けそびれている人がいます。』¹⁰

ヒンクレイ大管長は従順な人に対してもう一つ約束を加えました。「10 時に就寝し、午前 6 時までには起きるならば、万事うまくいくでしょう。』¹¹

睡眠に関する主の勧告に従うことは小さなことに見えますが、「主は小さな手段によって大なることを成し遂げられる」のです (1 ニーファイ 16:29)。わたしには、早寝早起きの生活を送ることにより、啓示をはじめ様々な祝福がもたらされるという証があります。早く床に就き早く起きると、驚くほど多くのことを一日で成し遂げることができます。この自己鍛錬の恩恵は、重ねなければならぬ努力をはるかにしのぎます。一日の初めにマットレスとの闘いに勝利できれば、その日に続いて起こる数々の戦いに勝利する確率がかなり高まります。活気と活力にあふれた生活を送れる確率も高まるのです。■

筆者はアメリカ合衆国テキサス州在住です。

注

1. ジョー・J・クリステンセン, *To Grow in Spirit: A Ten-Point Plan for Becoming More Spiritual* (1989 年), 27 - 28 参照
2. アリストテレス, *Wit and Wisdom of Socrates, Plato, Aristotle*, N・B・セン編 (1967 年), 100 で引用
3. *Selections from the Writings of Benjamin Franklin*, U・ウォルド・カトラー編 (1905 年), 16
4. *Forbes* 誌, "Emerging Culture, Worldwide Success" 2012 年 10 月 25 日付参照
5. アンネスト・L・ウィルキンソン, *Lifting One's Sights*, Brigham Young University Speeches of the Year (1963 年 10 月 1 日), 4
6. ラッセル・M・ネルソン「朝と共に喜びが来る」『聖徒の道』1987 年 1 月号, 73
7. *Journal of American College Health* 49 (2000 年), 125 - 130
8. ボイド・K・パッカー *Teach Ye Diligently* (1975 年), 205
9. ジョー・J・クリステンセン, バーバラ・K・クリステンセン, *Making Your Home a Missionary Training Center* (1985 年), 33
10. ジョー・J・クリステンセン, "Resolutions" (ブリガム・ヤング大学ファイヤサイド, 1994 年 1 月 9 日), 5, speeches.byu.edu
11. ゴードン・B・ヒンクレイの言葉。シェリ・L・デュー, *Go Forward with Faith: The Biography of Gordon B. Hinckley* (1996 年), 166 - 167 で引用

ハンガリー

の頑丈な柱

マッケル・ジョージ

ハンガリーのヤングアダルト、クリスチャン・エステル*は、福音により、神を信じる信仰が強められただけでなく、楽観的で実り多い未来に希望を持てるようになったと話します。「ハンガリー人は、明るい将来ではなく暗い過去について考えがちです。」 エステルの言う過去とは、ハンガリーの歴史のある期間（1949 - 1956年）のことです。当時、ハンガリー国歌の歌詞“*Isten, áldd meg a magyart*”（「神よ、ハンガリー国民を祝福したまえ」の意）は歌われませんでした。

福音がハンガリーにもたらされる

十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老が、ブダペストを見下ろすゲッレールト山の頂上で奉獻の祈りをささげてから1年後の1988年に、ハンガリーは正式に教会を認可しました。そして1990年、40年間信教の自由のなかった国で、ブダペストに伝道部が開設されます。現在、この国では神の影響が強く及んでいます。末日聖徒のヤングアダルトの心においては特にそうです。

インスティテュート・アウトリーチセンター

アウトリーチセンターは、中央ヨーロッパおよび東ヨーロッパのヤングアダルトを助けるうえで大きな役割を果たしています。十二使徒定員会のL・トム・ペリー長老は、中央ヨーロッパを訪問する前夜、明確な啓示を受けて目が覚めました。その地域において教会が発展していく鍵は、ヤングアダルトであると感じたのです。現在アウトリーチセンターは、ヤングアダルトがクラスや活動に参加し、教会の友人を見いだせる憩いの場となっています。「ここでは自分たちの標準が脅かされる心配もなく、安心して楽しめます」とエステルは言います。

エステルは故郷ウッフエヘルトで宣教師と出会い、無料の英語クラスに毎週通っていました。間もなく宣教師から支部の活動に誘われました。「最初から、ゲームの夕べと家庭の夕べ、ダンスパーティーに毎回参加しました」とエステルは言います。「18歳になる3週間前にバプテスマを受けました。今は、自分が神の娘であること、天の御父は娘を決して独りにはなさないことを知っています。」

ハンガリーは戦争や圧政により苦しんでいましたが、教会のヤングシングルアダルトは希望に満ちています。

ヤングアダルトの活動

エステルは今もニーレジハーザにある支部のヤングアダルトの活動に行っています。ハンガリーにはヤングアダルトのためのワードや支部はまだありませんが、「ヤングアダルトでよく集まっています」とエステルは言います。「皆でフラワーフェスティバルやカエル祭、動物園などに行きました。」

ペリー長老が予見したように、ハンガリーのヤングアダルトは人々の光となっています。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

*ハンガリーでは姓が名の前に来ます。

エステルについて

ハンガリーでは

どのようなデートをしますか。

ヤングアダルトの会員たちは出会いの機会を設けますが、簡単なことではありません。なぜなら、お互いが国の反対側に住んでいることもあるからです。

どのくらいの頻度で神殿に行きますか。

わたしは年に1度ドイツ・フライベルク神殿に参入できるので、とても恵まれている方です。

ハンガリーでは教育は重要ですか。

はい。でも、初めはそう思いませんでした。両親は幾つも卒業証書を持っているのに生活は楽ではなかったからです。でも、教育の良さが分かるようになり、2014年1月に大学に入学しました。

数字で見るハンガリー

人口 9,877,365人 (2014年現在)

国土の面積は 35,919 平方マイル
(93,030 平方キロ)

温泉が有名で、450の公衆浴場がある
ハンガリー語には14の母音がある

ハンガリーにおける教会

末日聖徒の人数 5,050

ワードおよび支部の数 22

ステーク 1 (2006年に設立)

家族歴史センター 6

伝道部 1 (ブダペスト)

ハンガリーに関する情報

首都 — ブダペスト

言語 — ハンガリー語 (マジャール語)



イエス・キリスト—— 平和の君

熱心に平和の君を探し求める人は、
平安を得ることができます。



十二使徒定員会
ラッセル・M・
ネルソン長老

主と永遠に続く命に心を向けること
によって、わたしたちはこの世のあ
らゆる試練を乗り越えることができ
ます。不完全な人たちが、不完全な人たちと
一緒にこの地球で暮らしています。わたしたち
は過度の負債や戦争、自然災害、病気、死に
苦しめられる、墮落した世界に住んでいます。

誰もが試練を経験します。心配の原因が
何であれ、誰もが心の平安を得たいと切に
願っています。

わたしは、真の永続する平安の唯一の源で
あるイエス・キリスト、平和の君についてお話し
します。¹

イエスは言われました。「幼な子らをその
ままにしておきなさい。わたしのところに来る
のをとめてはならない。天国はこのような者
の国である。」²

**戦争で生活が大きく損なわれた人々も、
イエスによって平安を得ることができます。**
軍務によって引き裂かれた家族は、戦争のこ
とが忘れられません。朝鮮戦争中の記憶は、
わたしの脳裏に深く刻み込まれています。

現代の戦争はより高度になっていますが、
家族に苦悩をもたらすことに変わりはありません。
そのように苦しんでいる人は、主に助け

を求めるとよいでしょう。主のメッセージは、
地に平和、人に善をもたらす、慰めのメッセージ
です。³

**元気をなくしている人も、平安を得ることが
できます。**体が傷ついている人もいるでしょう。
愛する人を失った喪失感その他の心の傷のため
に、霊的に苦しんでいる人もいるでしょう。
兄弟姉妹の皆さん、平和の君を信じる信仰を
育むならば、皆さんも平安を得ることができ
ます。

「あなたがたの中に病気の者がいるか。彼
らをここに連れて来なさい。足の不自由な者、
目の見えない者、足の悪い者、手の不自由な
者、……あるいはどんなことでも苦しんでいる
者がいるか。彼らをここに連れて来なさい。」⁴

「あなたがたの信仰がわたしから癒しを
受けるのに十分であることも、わたしは知って
いる。」⁵

**悲しみの中で苦しんでいる人も、平安を
得ることができます。**悲しみが過ちから来る
ものであれば罪から来るものであれば、主がお求
めになるのは、心からの悔い改めだけです。
聖文にはわたしたちへの切なる願いが記さ
れています。「若い時の情欲を避けなさい。
そしてきよい心をもって主を呼び求め……な

さい。」⁶ 慰めを与える主の「ギレアデの乳香」は、罪のために霊的に病んでいる人でさえ癒やすことができるのです。⁷

1725年にロンドンで生まれたジョン・ニュートンに起こった変化について考えてみましょう。この男性は奴隷商人としての罪深い人生を悔い改め、英国国教会の牧師になりました。そのような大きな心の変化を感じたジョンは、「アメージング・グレース」という賛美歌の詩を書いたのです。

何という恵み！ その麗しい響きが
わたしのような悪人を救ってくれた
かつて道に迷ったわたしが、今は見いだされ
盲目だったが、今は見える⁸

「罪びとがひとりでも悔い改めるなら、……大きいよこびが、天にあるであろう。」⁹

重荷を負っている人も、平安を得ることができます。

「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。

わたしは柔和で心のへりくだった者であるから、わたしの

くびきを負うて、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたの魂に休みが与えられるであろう。

わたしのくびきは負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」¹⁰

悲しんでいる人も、平安を得ることができます。 主はこう言われました。「悲しんでいる人たちは、さいわいである、彼らは慰められるであろう。」¹¹ 愛する人を亡くして悲しいときも、わたしたちは^{みたま}御霊のささやきを通して、主の平安に満たされるのです。

「わたしにあつて死ぬ者は死を味わわないであろう。死は彼らにとって甘いからである。」¹²

「わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。わたしが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。あなたがたは心を騒がせるな、またおじけるな。」¹³

「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとひ死んでも生きる。

また、生きていて、わたしを信じる者は、いつまでも死なない。」¹⁴



熱心に平和の君を探し求める人は、平安を得ることができます。 主のメッセージは教会の宣教師が全世界に携えて行く、すばらしい救いのメッセージです。宣教師は、主により、預言者ジョセフ・スミスを通して回復されたイエス・キリストのメッセージを宣べ伝えます。宣教師は次のような、人生を変える主の言葉を教えています。「もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。」¹⁵

平安は主の道に倣って歩む全ての人にもたらされます。 主の招きは、愛のこもった、次の短い言葉で言い表されます。「わたしに従ってきなさい。」¹⁶

わたしたちは平和の君をたたえます。¹⁷ なぜなら、主は再び来られるからです。そのときに、「主の栄光があらわれ、人は皆ともにこれを見る」こととなります。¹⁸ 「王の王、主の主」である主は、福千年のメシヤとして、この地上を治められるのです。¹⁹

わたしたちがイエス・キリストに従うならば、キリストはわたしたちを導き、主と天の御父、わたしたちの家族とともに住むことができるようにしてください。この世でさまざまな試練を受けながらも、交わした聖約を守り、最後まで堪え忍ぶならば、わたしたちは神のあらゆる賜物の中で最も大なるもの、すなわち永遠の命を受けるに足る者となります。²⁰ 主の聖なるみもとで、わたしたちは家族として永遠にともに住むことができるのです。

愛する兄弟姉妹の皆さんを神が祝福してくださいように。皆さんとご家族が、わたしたちの主、平和の君のあらゆる祝福を永遠に享受できるよう祈ります。■

2013年クリスマスディナーショナルにおける説教より抜粋

注

1. イザヤ 9:6; 2 ニーファイ 19:6 参照
2. マタイ 19:14
3. ルカ 2:14 参照
4. 3 ニーファイ 17:7
5. 3 ニーファイ 17:8。マタイ 13:15; 3 ニーファイ 18:32; 教義と聖約 112:13 も参照
6. 2 テモテ 2:22。3 ニーファイ 9:13 も参照
7. エレミヤ 8:22 参照。「部屋を出る前に」『賛美歌』78 番: "There Is a Balm in Gilead," Recreational Songs (1949 年), 130 も参照
8. "Amazing Grace," *Olney Hymns* (1779 年), 41 番。ヨハネ 9:25 も参照
9. ルカ 15:7。10 節も参照
10. マタイ 11:28 - 30
11. マタイ 5:4。3 ニーファイ 12:4; 教義と聖約 101:14 も参照
12. 教義と聖約 42:46
13. ヨハネ 14:27
14. ヨハネ 11:25 - 26
15. ヨハネ 14:15
16. ルカ 18:22
17. 「主の御名をたたえん」『賛美歌』105 番参照
18. イザヤ 40:5
19. 黙示 19:16 参照
20. 教義と聖約 14:7 参照



そこが知りたい



わたしは**14歳**の教師です。
 どんなことをすれば、本当の意味で
ホームティーチングに
貢献できるでしょうか。

聖典によると、ホームティーチャーの目的は、「各会員の家に訪れて、彼らが声を出して祈り、ひそかにも祈るように、また家庭におけるすべての義務を果たすように勧める」ことです（教義と聖約 20：51）。ホームティーチャーは、教える割り当てを受けた人たちを「見守り、……強め」ます（教義と聖約 20：53）。「警告し、説き明かし、勧め、教え、またキリストのもとに来るようにすべての人を招〔き〕」ます（教義と聖約 20：59）。

では、「これらのことができるだろうか」と自分に問い掛けてみてください。あなたにはできます。自分にどんな貢献ができるか、同僚に尋ねてください。同僚の兄弟は、あなたが約束を取ったり、証を述べたり、レッスンをしたりできるように助けてくれます。そうするときあなたは、訪問先の人たちを祝福するために自分に何ができるかが分かるようになるでしょう。そして神が与えてくださる賜物を使うことができるという自信が持てるようになります。これらの賜物は、ホームティーチングやその他多くの神権の義務を生涯にわたって遂行するために与えられるのです。■

わたしを苦しめた人を
 赦さなければならないのは
 なぜですか。

全ての人を赦しなさいという戒めは、多くの人にとって従うのに苦勞する戒めの一つです。しかし主は、全ての人を赦さなければならず、そうしない者はもっと大きな罪を犯していると言われました（教義と聖約

64：9 - 11 参照）。全ての人を赦すという戒めは最初はよく理解できないかもしれませんが、主はわたしたちが主のようになり、さらに大きな喜びを見いだせるように助けようとしておられるのです。重荷を主に委ねて怒りや憎

しみ、心の痛みを捨てるならば、この世では平和を、永遠の世では大きな祝福を得ることができるでしょう。時間を掛け、涙を流し、断食し、祈り、神権指導者に助言を求め、神殿に参入する必要がありますが、そうする価値はあるでしょう。

大管長会第二顧問のデーター・F・ワークトドルフ管長は次のように教えています。

「不満を捨てなければなりません。死すべき世の目的の一部は、そのようなものの捨て方を学ぶことです。そ

れが主の道なのです。

覚えておいてください。天国は、次の共通点のある人で満ちています。つまり、赦された人であり、また、赦した人でもあるという共通点です。」（「憐れみ深い人たちは憐れみを受ける」『リアホナ』2012年5月号、77 参照）■

人を赦すことについてさらに知りたい方は、ゴードン・B・ヒンクレー「赦す」『リアホナ』2005年11月号、81 - 84；ジェームズ・E・ファウスト「赦しのもたらす癒しの力」『リアホナ』2007年5月号、67 - 69を参照してください。



日曜日のレッスン

.....
今月のテーマ—
儀式と聖約

メルキゼデク神権を 受ける用意は できていますか

「神権を受ける者は皆、わたしの父の
この誓詞と聖約を受け入れるのである。
わたしの父がこれを破られることは……
あり得ない。」(教義と聖約 84:40)

誓 詞なしに受けるアロン神権と違って、メルキゼデク神権は天の御父が定められた誓詞と、あなたと御父の間で交わされる聖約によって受けるものです。以下のアイデアは教義と聖約第84章33から44節の重要な語句を理解するうえで役立ちます。主はこの聖句の中で神権の誓詞と聖約を明らかにされました。

天の御父が定められた誓詞とは何でしょうか

「わたしたちが誓詞と聖約に伴う可能性へのふさわしさを十分に身につけると、神のあらゆる賜物たまものの中で最も大なる賜物、永遠の命を受けます。これがメルキゼデク神権の目的です。神権を受けるときに交わす聖約を守り、神殿の儀式において聖約を更新することにより、わたしたちはエロヒム、すなわち天の御父からその栄光の全てを受け、御父が生きておられるごとくに生きるようになる、と誓詞によって約束されています。」

大管長会第一顧問 ヘンリー・B・アイリング
管長「信仰と神権の誓詞と聖約」『リアホナ』2008年5月号、61

この聖約におけるあなたの務めは何でしょうか

「この聖約によって男性が負う義務とは、神権の召しを尊んで大なるものとする[教義と聖約84:33参照]と、神の口から出る一つ一つの言葉に従って生き、戒めを守ることです。」

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長(1876-1972年)、“Magnifying Our Callings in the Priesthood,” Conference Report, 1970年4月、59

肉体が更新されるとは、どういう意味でしょうか

「自分自身の生活や人の生活の中でその約束が果たされるのを、わたしはこれまで見てきました。ある友人は伝道部会長を務めていました。任期中毎晩、次の日に働く力があるだろうかと心配しながら、2階の寝室までやっとの思いで階段を上がっていました。ところが翌日の朝を迎えると、体力と気力を取り戻していました。年老いた預言者が主イエス・キリストと回復された福音を証するたびあかしに新たに力を得ている様子を皆さんも見てきたと思います。これは信仰をもって神権の務めを果たす人々に与えられている約束なのです。」

ヘンリー・B・アイリング管長「信仰と神権の誓詞と聖約」『リアホナ』2008年5月号、62 参照

主を受け入れるとは、どういう意味でしょうか

「ふさわしい状態で神権を受け取る男性は主イエス・キリストを受け入れ、主を受け入れる者は父なる神も受け入れるのです。そして御父を受け入れる者は御父が持つておられるすべてを受けます。この誓詞と聖約によって、世界中のふさわしい男性、女性、そして子供たちにすばらしい祝福が注がれます。」

十二使徒定員会 ラッセル・M・ネルソン長老
「聖約」『リアホナ』2011年11月号、88

聖句の鎖——主を受け入れる

神権を受けることは、主を受け入れる一つの方法です。以下の聖句を読んで、さらに二つの方法を見つけましょう。ヨハネ13:20と教義と聖約112:20



若い女性もこれらの祝福を受けられますか

「神権の祝福は、男性だけに限定されたものではありません。これらの祝福は、わたしたちの妻と娘、そして教会の全ての忠実な女性にも注がれます。これらの善良な姉妹たちは、主の家の祝福を受けるために、戒めを守り、教会で奉仕することで自らを備えることができます。主は、息子たちが得られる全ての霊の賜物と祝福を、娘たちのためにも用意しておられます。」

ジョセフ・フィールディング・スミス大管長(1876-1972年)、“Magnifying Our Callings in the Priesthood,” Conference Report, 1970年4月、59

御父が持っておられる全てを受ける—— 現代のたとえ



ある若い男性が伝道に出る準備をしていました。彼の両親は、彼が伝道部の規則を守り、献身的に働くことを条件に、伝道資金を出すことに同意し、若い男性はそれを受け入れました。

しかし、伝道地に赴くと、伝道は思っていた以上に大変なものでした。新しい言語を学び、異なる文化に慣れることに苦勞し、拒絶に遭った彼は、心が折れてしまいました。同僚や伝道部会長は若者を励まそうとしましたが、彼は依然として諦めたいといった気持ちがありました。

彼は、家に帰りたいと伝道部会長に話しました。伝道部会長は若者の父親に電話をかけて、息子と電話で話す許可を出しました。宣教師は父親に、気落ちしていることを話しました。すると、父親はこのように言いました。「おまえが伝道に出て奉仕する日を、母さんとわたしはずっと前から楽しみにしてきた。イエス・キリストの福音を、まだ聞いていない人々に伝えること以上に大切なことはない」と確信している。」

息子はこう答えました。「父さん、伝道が父さんにとってそんなに大事だと知らなかった。」

「わたしにとって伝道は全て

だ」と父親はきっぱり言いました。「わたしはこれまでただ一人の人間のことを思って、働き、会社を大きくし、財産を蓄えてきた。それはおまえだ。わたしの目標はおまえに豊かな財産を残してやることだ。」

すると息子は父の言葉を遮るように言いました。「でも、父さん、伝道はちっとも楽しくなんかいいよ……。」

父親は息子が言い終わるのを待たずに答えました。「たかだか2年を主のためにささげることができないような人間に、わたしが自分の仕事を託せると思うか。」

息子は一瞬黙り込み、父親が投げかけた問いについて考えました。

すると、父親はこう告げました。「息子よ、もしこの召しを忠実に果たし、自分がふさわしいことを見せてくれたら、わたしが持っている全てのものは、おまえのものになる。」

父の約束に感激した息子は、勇気をもって「ここに残ります」と話しました。

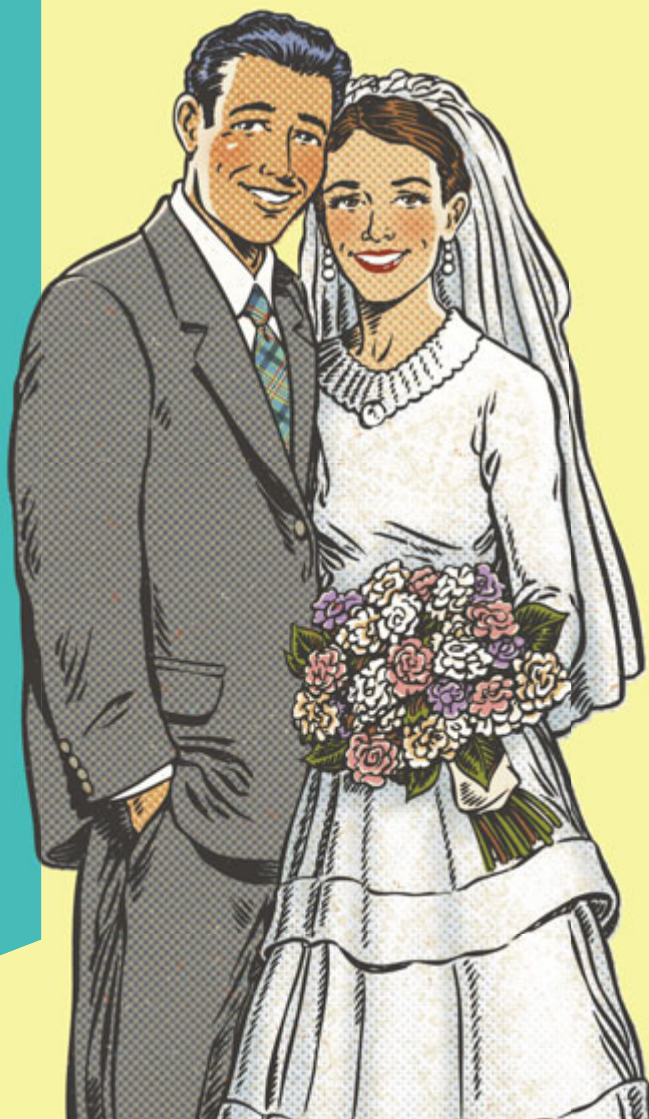
息子は本当に伝道地に残り、忠実に奉仕しました。伝道部の規則を守り、懸命に働きました。そして、伝道の後、時が来て、彼は父親から約束の財産、父親が所有していた全てのものを受け継いだのです。

七十人 カルロス・E・エイシー (1926 - 1999年)「神権の誓詞と聖約」『聖徒の道』1986年1月号, 47参照。

神権を通して得られる祝福

神の娘として正しく生きるとき、主の神権を通してたくさんの祝福を受けます。わたしは神権を通して回復された、イエス・キリストの教会の会員になれます。イエス・キリストの神権の力によって祝福された聖餐を受け、聖約を更新し、さらに完全に悔い改めるための助けを受けられます。神権の祝福を通して天の御父から直接指示を受けられます。神権の鍵を持つ人の指示によって任命を受け、召しの中で行動する権能を受けられます。その権能を使って、人の生活を祝福することができます。神殿で使われている神権の力を通して天の御父とさらに聖約を交わすことができます。神殿でふさわしい神権者と結婚し、一緒に義にかなった家族を築くことができます。永遠の家族とともに、天の御父が持っておられる全てを受けられます（教義と聖約 84：38 参照）。

メリッサ・ハート（アメリカ合衆国、ユタ州）



話し合いに参加する

日曜日に備えて、深く考える事柄

- 御父が持っておられる全てを受け取るうえで、聖約を守ることはどのような備えになると思いますか。
- 神権を「得〔る〕」こと（教義と聖約 84：33）と神権を「受ける」こと（35 節）の違いは何だと思えますか。
- 教義と聖約 98：11 - 12 の教えは、あなたが「神の口から出る一つ一つの言葉に従って生きる」（教義と聖約 84：44）うえでどのような助けになりますか。

実践してみること

- 聖霊を受けるにふさわしくあるように努める。靈感を受けることは、神権の教義をよりよく理解する助けになります。
- 教義と聖約 84：33 - 44 に書かれている神権の誓詞と聖約を暗記する。
- 神権に関するその他の聖句を、祈りながら研究する。例えば、アルマ 13 章と教義と聖約 13 章；20 章；107 章；121 章など。



七十人および
神殿部管理ディレクター
ケント・F・
リチャーズ長老

主の宮に 参入する 備え

神殿について考えるとき、ほほえんでください。

神殿は力と祝福を受ける場所です。

ある神殿オープンハウスで、数人の少女が両親の後ろについて神殿に入る姿が目に留まりました。彼女たちは花嫁の部屋の鏡に映る自分の姿を見てほほえんでいました。少女たちの祖母はこうさやきました。「あなたたちが特別な存在で、天の御父がどれほどあなたたちを愛してくださっているか、忘れないでね。」どの少女も、いつの日か自分が信仰を持ち、美しさと能力を増し加え、地上における使命を果たす準備のできた女性として神殿に戻るときのことを思い描いているようでした。オープンハウスに来ていた少年たちも、自分が将来受ける祝福と義務をそれとなく感じている様子でした。

これらの若人が神殿で抱いた思いは正しいものです。天の御父は皆さんを祝福したいと思っておられます。御父の最も偉大な祝福は、皆さんが神殿に参入し、神聖な儀式を受け、神聖な聖約を交わして守るときに与えられます。皆さんは準備をし、備えて

おく責任があります。

神殿は皆さんの人生において、特に若い時期において大切なものです。「若い男性は、自分の父親や祖父以上に神殿を必要としています。父親と祖父には人生で重ねてきた経験による安定感があります。人生を歩み始めたばかりの若い女性には御霊が必要です。神殿の儀式に参加することで得られる御霊の影響力と導きが必要なのです。」¹ これらの祝福を十分に受けて、理解できるように、今から心と思いを備えましょう（マタイ 13：23；マルコ 4：20 参照）。

完全な福音を受け入れる

神殿参入に備えるとき、皆さんは神殿で「〔主〕の完全な福音を受け入れる備え」ができます（教義と聖約 35：12、強調付加）。神殿は力と祝福を受ける場所です。主は預言者ジョセフ・スミスと初期の聖徒たちに、合衆国オハイオ州カートランドに集合するように命じられました。彼らは将来、そこで神殿を建てることになっ

ていました。「あなたがたはそこで、高い所から力を授けられるであろう。」（教義と聖約 38：32、強調付加）

最近行われたオープンハウスでは、ある使徒が結び固めの部屋の聖壇の周りに家族を集めました。教会で行う全てのこと、すなわちレッスン、活動、プログラム、集会は、人が神殿の聖壇に来て、結び固めの儀式を受けるための備えであることを家族に教えました。神殿は、皆さんの永遠の幸福と進歩のために作られた御父の計画の真髄を表しています。

神と聖約を交わすために備える

神殿に参入し、聖約を交わすための準備は一朝一夕にできるものではありません。バプテスマと聖霊の賜物を受けるところから始まり、祈り、聖文研究、従順、奉仕によって進んでいきます。毎週、聖餐を取るときに、清さをもたらししてくれます。悔い改めを通して赦しを求め、標準を守り、ふさわしさを保って神殿の限定推薦状を持つときに実現します。青少年のプログラムは



要 点

- 神殿では、救いに不可欠な儀式を受ける。
- 赦されていない罪がなく、清い状態で神殿に参入しなければなりません。
- 聖文と同じように、神殿で教えられる事柄や行われる儀式の多くは象徴的なもので、神殿に参入するたびにさらに多くを学べる。

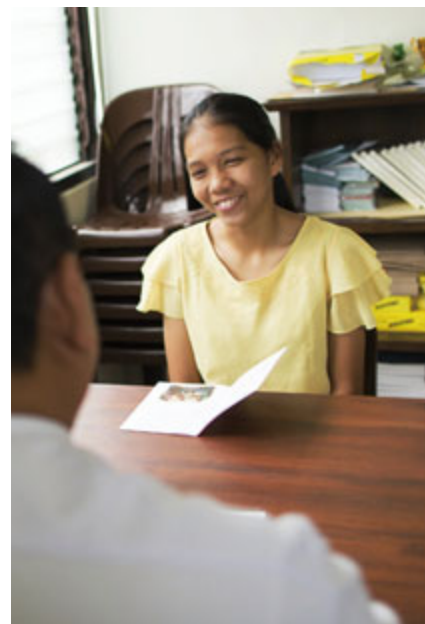
助けになりますが、準備は個人で行うべきものです。皆さん自身が皆さんのふさわしさ、皆さんの証、皆さんの改心を増しているのです。救い主の贖いは皆さん一人一人に効力を発揮します。

霊的に成熟するにつれ、神殿に備え、神殿に参入したいという皆さんの望みも大きくなっていくでしょう。皆さんは神殿で儀式を受け、聖約を交わします。これらは天の御父に近づくうえで不可欠な段階です。神殿の儀式は「主が〔人類に〕啓示された……至高の〔儀式〕です。」²

神殿の儀式を受けるとき、皆さんは自分のために一度だけ御父と厳粛な聖約を交わします。その後、生涯にわたってそれを守る努力をします。神殿に参入するたび、他の人のために必要な儀式を行うと同時に、主の御霊を感じ、さらに多くの啓示や理解力を受けることができます。自分が永遠に存在することや、聖約に無限の効力があることを理解し、確信するでしょう。わたしたちが永遠に存在しなければ、神殿は意味を持ちません。神殿に参入して聖約を交わす理由は、わたしたちが永遠に存在するからであり、「決して終わりのない幸福な状態で」天の御父、そして家族とともにいたいからです（モーサヤ2：41）。この確信は皆さんの心で生まれ、聖霊によって確認されます。

ふさわしさを保つ

聖霊の果たす役割は現実のものです。聖霊はあなたを教え、清め、御



父の愛を伝えてくださいます（ローマ5：5 参照）。約束の聖なる御霊とは、聖霊がお持ちの結び固めの力で、一つ一つの聖約に永遠の効力をもたらします。

御霊を受けるには、赦されていない罪がなく、清い状態で神殿に参入しなければなりません。サタンが何らかの方法であなたを打ち負かせるとすれば、その方法とはあなたを神殿から遠ざけたり、ふさわしくない状態で参入するように誘惑したりすることでしょう。

そのため、神殿に参入するための推薦状を得るふさわしさがあり、用意ができていないか吟味するために、ビショップや支部会長から個人面接を受けることになります。正直に話し、彼が助けてくれると信じ、頼ってください。実際のところ、皆さんは主の前で自分の地位を確立しているのです（教義と聖約109：24 参照）。推薦状に最初に署名するのは自分です。主の前で自分のふさわしさを証するのです。³

ふさわしいと言っても、完全であるという意味ではありません。心が正し

く、戒めを守って生活しており、毎日より善い人となることを望んでいることを意味します。

象徴から学ぶ

聖文と同じように、主は神殿で象徴を使って教えられます。聖文には多くの象徴があります。例えば、岩、種、果実、命の木、聖餐のパンと水などです（例えば、1ニーファイ11章；アルマ32章；ヒラマン5：12などを参照）。水に沈めるバプテスマは、新しい命、再生、清さを象徴します（ローマ6：3－5参照）。神殿では全員が白い衣服を着ます。白さは清さ、^{きよ}聖さ、光、平等を表します。

神殿で用いられる象徴の一部は、物理的でも霊的でもあります。例えば、ガーメントを着ることは、神殿の聖約と約束の祝福を毎日思い起こさせるためです。正しい敬意を表して貴ぶなら、ガーメントは誘惑や悪い影響力に対する守りとなります。

神殿のそれぞれの儀式は象徴的なものです。「この神聖な式典において、わたしたちは洗われ、油を注がれます。」⁴ これは古代イスラエルで王や祭司が自分の位に就く準備として行ったことと同じです（サムエル上10：1；16：13）。エンダウメントで授けられる教えと聖約は、神からさらに力と約束を授けられることを象徴します（ルカ24：49参照）。最も美しい象徴は結び固めの儀式と言えるかもしれません。この儀式では夫婦が永続する、断ち切ることのできないきずなどで結ばれます。



神殿で受ける約束は実り多い、気高いもので、御父があなたのために個人的に用意された「大きな恵み」と「大きな祝福」です（3ニーファイ10：18）。ですから、神殿について考えるとき、ほほえんでください。

何歳であろうと、天の御父が授けようとしておられる最も偉大な祝福を受ける準備として必要なことは何でも行いましょう。子供のときに次の歌を歌ったときの気持ちを信じましょう。「いつの日か入る神殿に……備えを始めよう、すぐに始めよう。」⁵ 皆さんにも同じことが言えます。■

注

1. ジョン・A・ウィットナー, "Temple Worship," *Utah Genealogical and Historical Magazine*, 1921年4月号, 91-92
2. 『聖なる神殿に参入する備え』(小冊子) 1
3. ヨシュア24：22, 27参照。「『あなたがたは主を選んで、主に仕えると言った。あなたがたはみずからその証人である。』彼らは言った、『われわれは証人です。』……ヨシュアは……大きな石を取って、……かしの木の下にそれを立て、ヨシュアは……言った。『見よ、この石は〔われわれの個人の神殿推薦状のように〕あかしとなるであろう。……すべての言葉を、聞いたからである。』」
4. 『聖なる神殿に参入する備え』1
5. 『神殿に行きたいな』『子供の歌集』99

わたしたちが神殿を建てる理由

「わたしたちは、なぜ神殿を建てるのか、なぜ神殿の儀式が必要なのかを理解する必要があります。それを知るなら、わたしたちは絶えず導きを受け、霊にかかわる事柄の重大さに目を開かれるでしょう。規則に規則を加え、戒めに戒めを加えられて、ついには完全な光と知識を我が物にできるでしょう。それはわたしたち一人一人にとっても、この教会にとっても大きな守りとなります。……

またいかなる業もこの御業^{みわざ}ほどに、人の霊を磨き、人に力を与えることはできません。加えて、これほど高い標準が要求される業もありません。

神殿の業は、わたしたち……にとって……盾となり守りとなります。……

神殿の儀式に関する啓示を受け入れるなら、そして、一日延ばしにしたり言い訳をしたりせずに主の契約の下に入るなら、主はわたしたちを守ってくださいなでしょう。わたしたちは人生に立ち向かうに十分な靈感を受けます。……

どうぞ神殿に参入してください。そして、祝福を受けてください。」

『聖なる神殿に参入する備え』(小冊子) 37



ゆる 赦す方法を見いだす

ボニー・ブラウン

わ たしたちは皆、人の行為によって傷つくときがあります。時には、その傷の痛みを忘れるのは不可能だと感じることもあります。しかし、その傷がどれほど深くとも、救い主は全ての人を赦すようにと教えられました。赦すのが難しい場合もありますが、キリストに近づけるようなことを行うことによって、わたしたちは赦しのもたらす平安を手に入れることができます。二人の若い女性が、人を赦した経験を紹介しています。

友達を赦す

ベルギーのある学校に転校したレネー*は、新しい友達ができ喜んでいました。その後、一人の友人の行動のせいで困難な事態が生じます。レネーはこう説明します。

「友人のノラがケイトという別な友人の名前でフェイスブックのアカウントを作ったのです。そして、そのプロフィールを使って人を中傷し始めたので、みんなはいじめだと言ってケイトを責めました。ノラは学校で、わたしの宗教や性格のあら探しをしてからかう

ようにもなりました。そのような攻撃を避けようと努力しましたが、無理でした。それで、わたしは他の友達と仲良くすることにしました。

ノラが偽のプロフィールを作ったと告白したとき、みんな彼女に腹を立てました。ノラから謝罪の手紙が届きましたが、わたしは赦せないと思いました。とても腹を立てていたのです。

ある日聖文を読んでいると、教義と聖約第64章9節から10節が目に残りました。『それゆえ、わたしはあなたがたに言う。あなたがたは互い

に赦し合うべきである。自分の兄弟の過ちを赦さない者は、主の前に罪があるとされ、彼の中にもっと大きな罪が残るからである。主なるわたしは、わたしが赦そうと思う者を赦す。しかし、あなたがたには、すべての人を赦すことが求められる。』

即座にノラのことを考えました。こんなに腹を立てるのが正しいことではないのは分かっていました。わたしは祈り、彼女を赦せるよう天の御父に助けを求めました。簡単ではありませんでしたが、何とか赦すことができました。わたしはまず、その日のことを尋ねるメッセージを彼女に送ることから始めました。時折、昼休みに話すこともありましたが、わたしは、ノラが4年前に父親を亡くしていたことを知りました。彼女は辛い生活を送っており、みんなに嫌われていると彼女自身は思っていたのです。わたしは彼女に腹を立てるのをやめてよかったと思いました。ケイトと他の友人たちは、どうしてわたしがノラを赦せたのか理解できませんでしたが、わたしは自分のしたことが正しいと知っていました。天の御父がわたしを誇りに思っておられることも分かっていました。』

レネーは、神がわたしたちにすべての人を赦すよう命じておられることを学びました。その戒めに従うことにより、ノラを思いやり、理解できるようになって、完全に赦すことができましたのです。

兄の死に平安を見いだす

ジャネットの兄が自動車事故で亡くなりました。車を運転していたのは10代の若者が飲酒しており、何人かの友達が同乗していました。ジャネットは憎んではいけないと分かっているが、どうしたら憎まないでいられるのか分かりませんでした。

「愚かな若者たちへの怒りと、兄を

返してほしという思いがあり、どちらの思いもわたしを苦しめました。生活にぽっかり開いた大きな空白は、考えることさえつらいものでした。何時間にも感じるほど長い間、熱烈に祈りをささげたことを覚えています。どうしても兄のネイサンに戻って来てほしかったのです。

ネイサンを巻き込む事故を起こした少年たちが哀れに思えるようになりました。彼らは非常に重い罪悪感を抱いていたはずだからです。しかし、わたしは、怒りと恨みも感じていました。少年たちを責めるのは簡単でした。頭では少年たちを赦したと言っておきながら、事故についてあれこれ考えると怒りが込み上げてきて赦せなくなってしまうのです。よくご自問しました。『どうしたらあの少年たちを本当に赦すことができるのだろうか。赦せるようになったことは、どうしたら分かるのだろうか』と。

ようやく本当に赦せたと感じたのは、何百回も祈り、熱心に断食し、学び、深く考えた末のことでした。ある日、深く思い巡らしたことを覚えています。こう思ったのです。『彼らを赦そう。赦せないなんてことがあるだろうか。誰だって過ちは犯すものだし、わたしには裁く権利なんてない。過去にしがみついても何の解決にもならないのだから、忘れることにしよう。』すばらしい気持ちを感じました！本当に少年たちを赦せたことを知りたいと、いつも強く思っていました。その願いもやがてかなえられました。ネイサンに起きたことは変えられなくても、わたしは怒りではなく、赦しと愛をもって対処することを選ぶことのできるのです。』

ジャネットは、本当の赦しには時間と努力が必要なきときもあることを知りました。救い主はこう言っておられます。「わたしに近づきなさい。そうす

れば、わたしはあなたがたに近づこう。」(教義と聖約 88:63) ジャネットは断食と祈り、聖文研究などを通して主に近づきました。わたしたちも同じことを行えば、怒りと心の痛みの代わりに、平安と赦しの気持ちを感じることができるようになります。

愛に満たされて

ジャネットとレネーの場合のように、わたしたちは人を赦すことによって、思いやりを持てるようになり、理解して忍耐することができるようになります。人を赦すとき、主はわたしたちの心を主の純粋な愛で満たしてくださいます。そして、わたしたちはさらに主のような者になることができるのです。

■ 筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

*名前は仮名です。



純粋な愛

「キリストの純粋な愛は、憤りと怒りのうろこをわたしたちの目から落とします。天の御父がわたしたちを見ておられるように他の人を見ることができるようになります。わたしたちは欠点があり不完全でありながらも、人には想像も及ばぬ可能性と価値を持つ者として御父の目に映っているのです。神がわたしたちを深く愛してくださっているのです。わたしたちも互いに愛し合い、赦し合わなければなりません。」

大管長会第二顧問
ディーター・F・ワークトドルフ管長
「憐れみ深い人たちは憐れみを受ける」
『リアホナ』2012年5月号、76

光を 道にまけ

笑顔は世界を良くし、
誰かの一日を明るくします。

(マタイ 5:14-16 参照)

わたしと音楽

わたしは間違えるのが怖くてピアノをやめていましたが、
恐れを克服するチャンスが与えられたのです。

サブリーナ・デ・ソーザ・ティシェイラ

わたしの子供の頃からの夢は、ピアノを弾くことでした。12歳のとき、愛する教会員が弾き方を教えてくれました。その後、父がキーボードをプレゼントしてくれました。しかし、聖餐会^{せいさん}でピアノを弾こうとしたとき緊張してしまい、弾く喜びが薄れていきました。何度も間違えたので、恥ずかしくてもう弾きたくないと思いました。次に聖餐会^{せいさん}で弾くのは、うんと練習してほぼ完璧に弾けるようになってからだ、と自分に言い聞かせました。でも、落胆したわたしはキーボードを売り、この才能を隠してしまったのです。

それから何年もたってからのことです。ある日曜日、伴奏者がいませんでした。ワードでピアノを弾いてくれていた姉妹が転出してしまったのです。ピアノやオルガンの伴奏なしで歌っている会員たちを見たとき、わたしはビショップのところ^{みたま}に話しに行くように御霊が促すのを感じました。わたしは「ピアノを弾いてもよいでしょうか」と尋ねました。ビショップは、いいと言ってくれました。

何年もピアノを避けていたわたしが、間違えることに対する恐れを克服したのです。驚いたことに、わたしはブラ

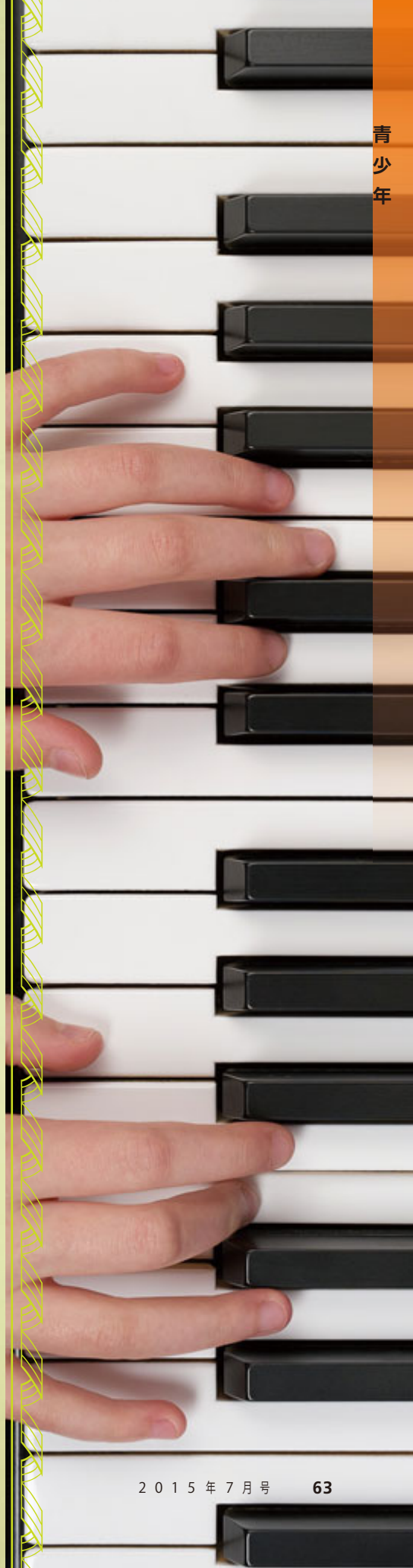
ジルの曲がなかったかのように弾き始めました。間違いはありましたが、多くはありませんでした。その経験から、わたしは勇気をもってビショップのところへ行き、毎週日曜日にピアノを弾く責任を引き受けますと提案することができたのです。

わたしは毎週練習し、ピアノを弾く喜びを再び感じるようになりました。練習するときはいつも、家の中に御霊を強く感じます。ピアノを弾いていると、家事をしている家族がピアノに合わせて歌うこともあります。同じ賛美歌を歌って家族が一致するのです。

ワードの会員の多くが、ピアノの腕が上がったことに気づいて褒めてくれます。ワードの集会の霊性に貢献できてうれしいと同時に、置き去りにしていた才能を取り戻せたことに、わたしは感謝しています。

わたしはピアノ曲を愛するようになりました。ピアノ曲のもたらす静寂はすばらしいものです。天にもこのような音楽があればいいと思います。ひょっとしたら、わたしが日の栄えの聖歌隊の伴奏を務めているかもしれません！ ■

筆者はブラジル、マナウス在住です。





七十人
フアン・A・ウセダ長老

と も だ ち 友 達 に 話 す よ う に か み さ ま は な 神 様 に 話 し ま し た

いの 祈りなさい、はな 話しなさい
〔「子供のいのり」『子供の歌集』6-7〕

子 どものころ、わたしはとてもはずかしがり屋で、なかなか
友達ができませんでした。おそれやはずかしさを乗り
こえられるように、神様によくいのりました。友達に話す
ように、神様にいのりました。だれかから教えられたの
ではなく、ただ本当にだれかと話したかったのです。
友達がいなかったので、神様に友達のように話す
ことで、神様という友達を見つけました。

その後、宣教師に会いました。宣教師からモル
モン書を読み始めました。第三ニーフアイ
第17章を読んだとき、イエスがやさしい子ども
たちをそばに置いて、かれらのためにいのられた
ことに本当に感動しました。それこそ正しい
いのりの方法だと分かりました。

イエス・キリストがいのっておられるせいくを
全部読んでみようと思ひました。

ルカによる福音書第3章21節には、ヨハネ
がイエスにバプテスマをほどこしたあと、





イエスが天のお父様にいのられると天が開いたと記されています。それを讀んだとき、わたしも天が開かれるようないのりがしたいと思いました。

ときどきつかれて、いのりたくないときもあります。でもそのとき、イエスがどのようにいのられたかを思い出します。天がわたしにも開かれるように、正直で誠実にいのろうと努力しています。

自分の思いを上手に表す言葉が見つけられなくて、いのりが短くなることもあります。心の中にたくさんの思いがあふれて、「神様はわたしの言いたいことをごぞんじです。どうぞ助けてください」といのることもあります。

食事の祝福のいのりをするとき、そのような小さないのりにも、天が開かれることがあることを思い出します。この世のことはわすれて、天のお父様とつながろうとします。とてもけんそん

に、心からの思いを話そうとします。平安となぐさめを感じるとき、わたしにも天が開かれたとわかります。

宣教師がわたしの家族に福音を教えた後、母と姉とわたしはバプテスマを受けました。でも、父と兄ともう一人の姉は教会に入りませんでした。わたしは本当に父に教会員になってほしいと思いました。だんじきして、父が福音を受け入れてバプテスマを受けるように毎日いのりました。

父のためにいのる必要があることもわかっていましたが、神の答えを待つ必要があることもわかっていました。お父様は、「いいえ、今はそのときではありません」とおこたえになることもあります。ついに父は福音を聞いて受け入れ、バプテスマを受けました。

もしあなたのお母さんやお父さんが教会の会員ではないとしたら、あなたの友達である天のお父様に話してください。あなたのお母さんやお父さんの心につれてくださるようお願いしてください。けんそんに、正直に、誠実にお話ししてください。でも、その後はリラックスしていきましょう。お父様はちゃんと約束を守ってくださいます。どうやってそれを果たすかをよくごぞんじです。天のお父様はあなたが知っているよりもっとあなたのお父さんやお母さんのことをよくごぞんじです。お父さんやお母さんの心を動かす方法をごぞんじです。

心配しないでください。天のお父様はあなたの友達です。心からいのるなら、天のお父様はあなたのいのりを聞いてくださいます。そして天が開かれるでしょう。お父様はあなたをごぞんじで、あなたを祝福してくださるでしょう。■

あなたにできることは何でしょうか。

家族の中に教会員でない人がいたらどうすればよいでしょう。まだ家族が神殿で結び固められていなかったらどうすればよいでしょう。ウセダ長老がした5つのことをしょうかいしましょう。あなたにもできますよ。

1. いのりの中で天のお父様とお話する。お父様はあなたの友達です。
2. 家族のためにいのる。

3. 天のお父様を信頼する。お父様はあなたの家族のことも、どうやって家族を助けるかも、よくごぞんじです。
4. リラックスして、心配しない。天のお父様は約束を果たしてくださいます。
5. 天のお父様があなたをごぞんじで、あなたを祝福してくださることをわすれない。

このお話の出来事は1889年5月に起こりました。

アナ・マチルダ・アンダーソンは、黒い

かさの下でお母さんとお姉さんのアイダと身をよせました。汽車が近づいて来るのが見えると、アナは体がふるえましました。これから、この汽車に乗ってスウェーデンをはなれ、アメリカへわたる旅を始めるのです。

「いい子にしてカールソン長老の言うことを聞くのよ。」アナのお母さんがスウェーデン語でささやきます。お母さんはむすめたちをだきよせました。カールソン長老はアナが8才のときから3年間、スウェーデンで宣教師として働いてきました。今、アメリカ合衆国のアイダホ州の家族のもとに帰る時が来たのです。

お母さんがアナとアイダを、迫害からのがれてスウェーデンからアメリカに行かせる決心をしたとき、カールソン長老が二人の面倒を見ましようとってくれたのです。カールソン長老は汽車のそばに立って、二人と一緒に来るように合図しました。アイダはお母さんをぎゅっとだきしめて汽車の方に歩き始めましたが、アナはじっとして動きません。

「愛しているわ」とアナが



言いました。「お母さんがいなくてさびしいわ。」

「わたしもよ。さあ、よく聞いてちょうだい。」

周りの人があなたの分からない言葉で話している所に行ったら、天のお父様にいのることをわすれないでね。天のお父様はあなたの言葉を分かってくさるから。」

お母さんの言葉を心にとめながら、アナは汽車に乗り、アイダとカールソン長老のとなりにすわりました。初めて乗る汽車をずっと楽しみにしていたのに、最後にお母さんを一目見たいという思いで頭はいっぱいでした。汽車は高すぎて、アナには人々の顔が見えませんでした。でも、人ごみの上の方にお母さんの黒いかさが見えたので、アナはにっこりしました。お母さんが見守ってくれていることがわかりました。

けむりをもくもくと出しながら、汽車が発しました。最初はゆっくりと動いていたので、お母さんは汽車の横を走っていました。黒いかさがゆれて、アナに別れを告げていました。でもやがて黒いかさは見えなくなりました。まどガラスに顔をよせ、これから何が待っているのだろうと考えました。

数週間後、アナは別の汽車のまどガラスに顔をよせていました。それは、ユタ州のソルトレーク・シティーに向かう汽車でした。

アナの旅

ジェシカ・ラーセン

ほんとうに本当にあったお話をもとに書かれました。



「アメリカはスウェーデンと全然ちがうわね。」アナがアイダに言いました。

「ヤ」とアイダがスウェーデン語で答えました。(訳注——「ヤ」はスウェーデン語で「はい」という意味です。)[でも今はわたしたちの家はアメリカよ。一生懸命働いたら、お母さんもアメリカに来れるわ。]

お母さんの分のきつぷを買うお金がなかったのです。ユタ州オグデンに住むある家族が、アイダがアメリカにわたるためのお金を出してくれました。アイダはその家族と一緒にくらし、そのお金を返すために働くのです。でも、アナはソルトレーク・シティーのおばさんの家に住むことになっていました。アナのおばさんは何年前にユタ州にうつり住んでいました。アナのお母さんはアナが行くことを手紙で伝えていました。

汽車に乗った後、船で北海をわたってデンマークに行きました。それからイギリスやアイルランドに行き、大西洋をわたってニューヨークに到着しました。アナは15日間の船旅の間中ほとんど、船よいで大変な思いをしたので、ニュー

ヨークでユタに向かう汽車に乗って、ほっとしました。

「ユタ州オグデンに到着。」車掌が言いました。アナはまだ英語は全く分かりませんが、町の名前は分かりました。アナの心はずみしました。カールソン長老が立ち上がって自分のバッグとアイダのバッグを持ち上げるのを見て、もっと心がずみしました。

「行ってしまうの？」アナはアイダに聞きました。

「そうよ」とアイダは静かに答えました。「心配ないわ、アナ。ソルトレーク・シティーに着いたらおばさんが待っていてくれるもの。」

アナは駅でアイダとカールソン長老が長老の家族と会う様子をながめました。カールソン長老たちは、アイダをほろ馬車に乗せてアイダの新しい農場の家に連れて行き、それからアイダホに向かうのです。とうとうアナはひとりぼっちになってしまいました。

汽車は夜も走り続け、ソルトレーク・シティーの駅で停車しました。もう真夜中近くになっていました。アナは自分の



バッグを持って、プラットフォームにおりました。つかれた目でおばさんをさがしました。

でも、アナを出むかえてくれる人はだれもいません。

アナはとたんにこわくなりました。何か見落としていないかと願いながら、もう一度プラットフォームを見わたしました。何人かの人かけが見えました。ゆらゆらと光るガス灯の光でその人々の顔を見分けようと思いました。でも、その中におばさんはいませんでした。

見知らぬ人々がアナに近づき質問してきました。きつと助けようとしてくれているのだと思いましたが、何と言っているかは分かりませんでした。

こんなにこわい思いをしたのは生まれて初めてでした。スウェーデンでクラスの友達から新しい信仰についてはかにされたときよりも、ニューヨークに向かう船の中で気分が悪くなったときよりも、お母さんにさよならを言ったときよりも、こわくてたまりませんでした。

アナは目をとじると、お母さんの言葉を思い出しました。

「天のお父様にいのることをわすれないで。天のお父様はあなたの言葉を分かってくさるから。」

アナはスーツケースをわきに置いて、プラットフォームでひざまずいていのりました。そんなに一生涯懸命にいのったのは、生まれて初めてでした。スウェーデン語が話せて、自分の言うことが分かる人を送ってくださるように、天のお父様にいのりました。

いのり終わって目を上げましたが、アナをむかえに来た人はいませんでした。でも、汽車と一緒に乗っていたドイツ人の家族が見えました。その家族のお母さんが自分たちと一緒に来るように手まねきしてくれました。アナはまだ泣きながらバッグを持って、その家族の後について行きました。

テンプルスクウェアの南門までついて行き、美しい新しい神殿が建てられた場所を見ました。突然、急ぎ足でアナに近づいて来る足音が聞こえました。一人の女の人が近づいて来て、到着した移民の人全員顔をじっと見始めました。ドイツ人家族を見た後、アナを見ようと立ち止まりました。

アナが見上げると、その女の人はじっとアナを見つめました。アナもその人を見つめるうち、希望がわいてきました。

アナの知っている人だったのです。1年前にユタに行っただばかりの、日曜学校の教師だったのです。先生もアナを覚えていました。

先生はアナをぎゅっとだきよせてくれました。先生はアナのなみだをぬぐい、スウェーデン語でこう言いました。「何度も何度も目が覚めたの。到着する移民のすがたが頭の中でぐるぐるめぐってねむることができなかったわ。わたしの知っている人がここにいるかどうかたしかめるために、神殿に行ってみた方がよいという気持ちを感じたのよ。」先生はアナの手を取ると、通りを歩いて行きました。「さあ、わたしと一緒に来て。」

後になって、おじさんとおばさんはソルトレークから引っこして、お母さんからの手紙を受け取っていなかったことを知りました。先生が二人に手紙を送ってくれ、4日後、おじさんとおばさんがアナをむかえに来てくれました。そしてやがて、アイダとアナはお母さんもアメリカによびよせることができました。

でも、そのときは何も分かりませんでした。アナは先生の家に向かって歩きながら思いました。「天のお父様はわたしのいのりにこたえてくださるよりももつとすばらしいことをしてくださったわ。わたしはただ、わたしの言葉を知っている人を送ってくださるようにといのったのに、わたしの知っている人を送ってくださったんですもの。」■

このお話を書いた人はアメリカ合衆国アリゾナ州に住んでいます。

あなたの先祖のヒーローを見つけましょう。

.....
 お父さんやお母さん、おじいさんやおばあさんに、家族の話をしてもらいましょう。
 あなたの先祖の中でヒーローが見つかるかもしれませんよ。



てんとうさま 天のお父様は いのりにこたえてくださいます



ジョージ・R,9才
(アメリカ合衆国ニューメキシコ州)

天のお父様は今まで何度もほくのいのりを聞いて、こたえてくださいました。その最初の思い出は、ほくが4才のときのことです。遊びたいと思っていたブロックをなくしてしまったので、ほくは部屋に行ってひざまずいていのりました。おもちゃを見つげられるように助けてくださいと天のお父様にお願ひしました。ほくのいのりはすぐにこたえられて、となりの部屋でブロックを見つけました。

一番大切ないのりがこたえられた経験は、家族全員でいのったときのことです。いとこのクリスチャンが伝道を終えて2,3か月後、山の谷道を夜おそく運転していました。いとこの車ともう一台の車がしょうとつしました。別別の車を運転していた人は何ともあり

ませんでした。いとこはヘリコプターで病院に運ばれました。

クリスチャンは体中にひどいけがをしていました。意識がなく、お医者さんからはもう目を覚まさないだろうと言われました。家族みんなでだんじきをすることにしました。お父さんやお母さん、お姉さんや妹、おじいちゃんやおばあちゃん、おばさんやおじさん、いとこ全員で順番にクリスチャンのためにだんじきしました。ほくは学校のある日にだんじきをしたので、その日お昼を食べない理由を先生やクラスの友達に説明しなければいけなくなりました。いとこのためにだんじきしていたので、一日食べなくても全然つらくありませんでした。

天のお父様はほくたちのいのりにこたえてくださり、クリスチャンは意識を取りもどすことができました。まだ完全に全部のことができるようになったわけではありませんが、少しずつ良くなっています。クリスチャンはまだ長いリハビリを続けなければなりません。これからもみんなでクリスチャンのためにいのります。天のお父様の助けがあれば、何もできないことはありません。■

あなたへの質問

あなたはどんなことで助けが必要ですか。ぜひ天のお父様と話してみてください。

われに来よ

(簡易伴奏)

詞：ジョン・ニコルソン
曲：サミュエル・マクバーニー

へりくだって ♩ = 69-76

1. 「われにこのよ」といおう
2. 「きたれ」このことうばは
3. しゆにししたるがとうのほ
4. よにああるとときにほ

すくいぬしにゆかん
みじかしくあれども
かなしきこのよに
このよはなれても

ひとりではおられす
われらでみちらびく
あるとまきのみならす
しゆのみちをゆかば

みこよとともにあれ
ひかるとかえがやく
てんどのいつえにまで
しゆとよつぎにならん

©2015 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved.
教会あるいは家庭における一時的または非営利目的の使用に限り、複製することを許可する。
複製の際は、この通知部分を含めること。

タラントのたとえ

ジーン・ビンガム

イエスは、ある男の人が3人の人にお金をかして、自分のために働いてもらったたとえを話されました。その後、その男の人は遠くに出かけました。その間、2人の人は一生懸命に働いて、借りたお金を使ってもっとたくさんのお金を男の人に返せるようになりました。でも1人はなくしたらこまると思って、お金をうめてしまいました。男の人が帰って来たとき、かしたお金をふやした人には褒美をあたえました。でも、ふやす努力をしなかった人からはお金を取り上げてしまいました。(マタイ 25 : 14 - 9 を見ましょう。)

たとえに出て来る男の人のように、天のお父様はわたしたち一人一人にとちもかちあるものをあたえてくださいました。それはお金ではなく、歌ったり、愛をしめしたり、走ったり、人を助けたりする特別な能力、才能です。たとえに出てくる人たちのように、あなたも才能をのばすために一生懸命努力しなければなりません。

才能を使ったりのばしたりすることによって、あなたはどのようにイエスの教えにしたがうことができますか。そうするとき、もっと幸せな気持ちになり、人を助けることができます。■

このお話を書いた人はアメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。

もっと学びましょう

才能(訳注 — 英語では「タラント」と言います)は、特別な能力です。絵をかく才能などがあります。でも、イエスの時代、タラントは、大金を表していました。このタラント(才能)とタラントはどのようににているでしょうか。



家族の タレント ショー

さいのう ほっびょう けいかく
才能を発表するためにショーを計画してください。

1. 家族全員に何か得意なことを発表してもらいます。声に出して本を読む、お菓子を焼く、音楽の発表をする、おもしろいことを言う、体操をする、すてきなえがおを見せる、などをするとよいでしょう。
2. それぞれ才能を発表してもらった後、家族にその人の良いところについて気づいたことを言ってもらいます。
3. おやつに、それぞれが好きなくだものをまぜておいしいフルーツサラダを作しましょう。



あなたの
才能を
分かち合っ
てください!

場所： _____
日： _____
時間： _____

おやつ用にくだものを
用意して来てください!

liahona.lds.org で、
招待じょうをもっとコピーできます。

家族の話し合い

家族全員に自分の才能を少なくとも一つ挙げてもらいます。その才能をのばせるようにおたがいにどのように助け合うことができますか。才能を使うことで人を助けたり、天のお父様に感謝を表したりすることができることについて話し合しましょう。家族に、おたがいの才能を見つけて毎日心からほめるようにチャレンジしましょう。

歌 — 「小さな川が」(『子供の歌集』116 - 117)

せいこう — 教義と聖約 46 : 11

ビデオ — Biblevideos.org で「タレントのたとえ」を見ましょう。

聖文のヒント

聖文の物語をえんじると、もっと物語について楽しく学ぶことができます。

1. 物語の役をわり当てます。バスローブや紙のお金など、簡単な衣装や小道具を使うとよいでしょう。
2. 一人の人に物語を読んでもらい、せいこうを一つ読むごとに間を置き、その間に読んでもらった内容をえんじるようにしてもらいます。
3. みんなが楽しめるようにもう一度げきをえんじます。

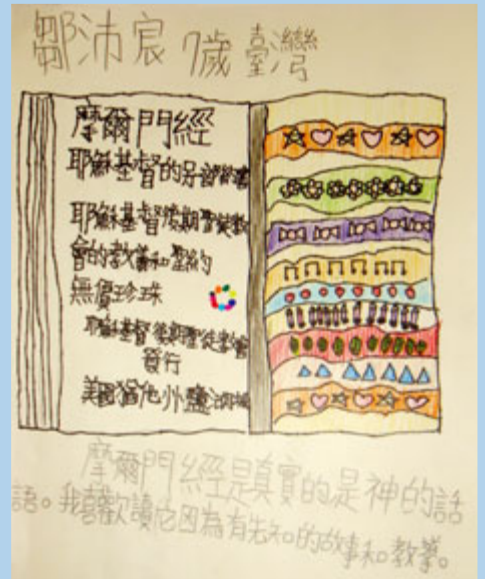
わたしたちの ページ



どうすればよいか知るためにいれました

3年生のとき、わたしたちは1年の最後をお祝いするために、パーティーを開いていました。みんなが水をかけあったり、さけんだり、悪い言葉を言い合ったりしていました。わたしはその場所において、落ち着かない気持ちがしたのでおのりをしました。すると、せいいいがもっと良い気持ちになるためにはどうしたらよいか分かるように助けてくださいました。わたしは、みんなからはなれて、別の部屋に行きました。心の中に、安全で、温かい気持ちを感じました。

クリスティーナ・V, 11才, ウルグアイ



モルモン書は しんじつです。それは かみのことばです。モルモン書を 読むのが すきです。ものがたりや よげんしゃの 教えが書かれているからです。
Z・ペイチエン, 7才 (台湾)



ぼくは 聖書の ノアの はこぶねのお話が すきです。それから、絵を かいたり、色をぬったり、あそんだり、かそくと いっしょに時間を すごしたりするのがすきです。これはぼくが かいた カートランドしんでのん の 絵です。
レオナルド・G, 7才 (ベネズエラ)



ホアキン・V, 9才
(アメリカがっしゅうこく, カリフォルニアしゅう)

しんでん 神殿カード

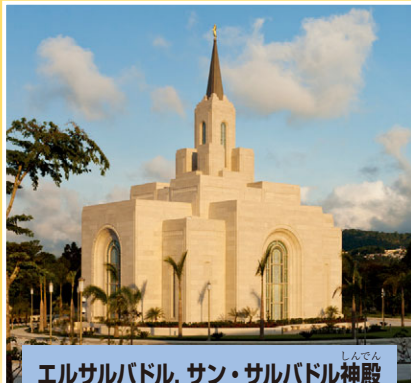
このページを切り取り、あつ紙にはって、カードを切り分けましょう。

liahona.lds.org で、もっとたくさんカードのコピーを作ったり、他の神殿のカードを見つれたりできます。



ウクライナ、キエフ神殿

2010年8月29日、
トーマス・S・モンソン大管長によって
ほうげんされました



エルサルバドル、サン・サルバドル神殿

2011年8月21日、
ヘンリー・B・アイリング管長によって
ほうげんされました



グアテマラ、ケツアルテナンゴ神殿

2011年12月11日、
ディーター・F・ワークトドルフ管長によって
ほうげんされました



ミズーリ州、カンザスシティ神殿

2012年5月6日、
トーマス・S・モンソン大管長によって
ほうげんされました



ブラジル、マナウス神殿

2012年6月10日、
ディーター・F・ワークトドルフ管長によって
ほうげんされました



ユタ州、プリガムシティ神殿

2012年9月23日、
ボイド・K・パッカー会長によって
ほうげんされました



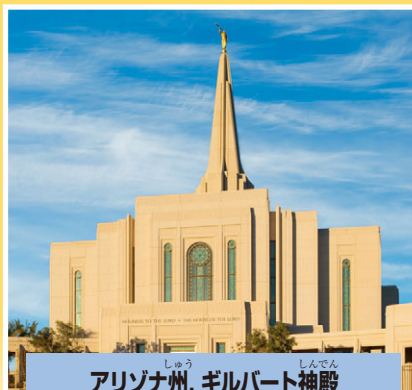
アルバータ州、カルガリー神殿

2012年10月28日、
トーマス・S・モンソン大管長によって
ほうげんされました



ホンジュラス、テグシガルバ神殿

2013年3月17日、
ディーター・F・ワークトドルフ管長によって
ほうげんされました



アリゾナ州、ギルバート神殿

2014年3月2日、
トーマス・S・モンソン大管長によって
ほうげんされました

神殿では どんなことをしますか

キャロライン・コルトン

神殿は神の宮です。神殿の中に入ると、天のお父様とイエス・キリストを近くに感じます。神聖な儀式に参加します。また、聖約とよばれる特別な約束を天のお父様とかわします。わたしたちは、なくなった人たちに、福音を受け入れる機会をていきょうすることができます。あなたが初めて神殿の中に入る日は特別な日になるでしょう。■



バプテスマフォント

12オになると、バプテスマを受けずになくなった人々のためにバプテスマを受けることができます。フォントはイスラエルの十二支族を表す牛の上に置かれています。

日の栄えの部屋

日の栄えの部屋は美しいところです。いつの日か天のお父様やイエス・キリストと住むとき、どんなに平安で幸福であるかを教えてください。

中台写真員 サマー・レーニエル・テリック、イラスト/ブライアン・クック



12才になると、ビショップと面接して自分のすいせんじょうをもらうことができます。そして、バプテスマを受けるために神殿に行くことができます。



結び固めの部屋

このような部屋で、家族は永遠にともに結び固められます。これは、この世だけでなく、永遠に家族として住むことができるという意味です。



せいなる神の家
うるわしの宮
そなえを始めよう
すぐに始めよう

(「神殿に行きたいな」
『子供の歌集』99)

世界の神殿の写真を見るには
temples.lds.org で
“Gallery” をクリックしてください。

ユタ州オグデン神殿の日の光の部屋。バプテスマメント、儀式の部屋。結び固めの部屋の写真



儀式の部屋

このような部屋の中で、天のお父様がわたしたちのために用意してくださった計画について学び、もう一度お父様と住むことができるように聖約をかわします。世界のそうそう、アダムとエバ、イエス・キリストについて学びます。もしも忠実であれば、来世で受ける祝福についても学びます。

いつの日か 行こう

メアリー・N, 12才
(アメリカ合衆国メリーランド州)

12才の誕生日を目前にして、わたしは神殿に行くのがとても楽しみでした。家族と一緒に、神殿の中はどんなだろうと話し合ったり、神殿内の写っている写真を見たりしました。

神殿のバプテスマを受けに行く2、3週間前、わたしの家族は特別な家庭の夕べをしました。何人かの先祖のすばらしい話を聞いたり、住んでいた場所や、どんな生活をしていたかを教えてもらったりしました。ひいおじいちゃんがかみなりに打たれても死ななかったことも分かりました。先祖のうち何人かがイギリス出身だったので、弟たちと一緒にイギリスの旗の絵に色をぬりました。少しかだけ先祖とつながることができたと感じました。

神殿は外側と同じように中もとてもきれいでした。神殿で会った人はどの人もとても親切で、神殿は温かく平安なみたまにあふれていました。わたしはそれまで感じたことがないような気持ちを感じました。すべてが完璧でした。おばさんが、まだバプテスマを受けていない親戚の人の名前を持って来てくれました。待っている



とき、お母さんとおばさんとわたしは、300年前に生きていたその先祖たちは、どんな女性だったのだろうと想像しました。お父さんからバプテスマをしてもらって、特別な経験になりました。

みんな白い服を着ているのを見て、天使に囲まれているように感じました。神殿は地上の天国のようでした。■

初めて神殿に行くときの 5つの提案

神殿について、親や教師と話す。

神殿の部屋の写真を見る。

ビショップと神殿の面接の約束を取る。

ビショップは、あかしや、いましめを守る
ことについて話してくれるでしょう。

先祖について調べる。もしできれば、バプ

テスマができる先祖を見つけましょう。

FamilySearch.org でさらに学びま
しょう。

せいいいがともいてくださるよう
にいのる。そうすれば、初めての神殿
参入を楽しむことができます。

とくべつなしょうにん
特別な証人



じゅうにしとていんかい
十二使徒定員会

ニール・L・
アンダーセン長老

じゅうにしとていんかいのめいぶ
十二使徒定員会の会員は、
イエス・キリストの
とくべつなしょうにん
特別な証人です。

しんでんなか
神殿の中は
どのようなところ
なのでしょう



ちきゅうのそうぞうについてまな
地球のそうぞうについて学びます。



わたしたちのすくぬし
救い主、
イエス・キリストについて
まな
学びます。



すくぬしへいあんが
救い主の平安が
あなたの心配やおそれを
しんばい
しずめてくれます。



しんせいきもち
神聖な気持ちがします。



じんせい
人生で
つらいことがあっても、
つよ
強くいられます。

イラスト：シド・ペネ



大管長会第二顧問
ジェームズ・E・
ファウスト管長
(1920-2007年)

子羊と 羊飼いについて

わたしの小さな友である子羊は嵐におびえ、その鳴き声が聞こえてきました。

わたしがまだ小さな子供だったとき、父は荒れ野に子羊が1匹だけいるのを見つけました。母羊のいた群れが移動し、どういふわけか、その子羊は母羊からはぐれてしまったのです。羊飼いには、その子羊がいなくなったのが分からなかったのでしょうか。子羊だけでは砂漠の中で生きていけないので、父は車に乗せて、家に連れてきました。そのままにしておけば、コヨーテの餌食になるか、飢え死にするか、いずれにしても死んでしまいます。まだ乳を必要とするほど小さかったからです。牧羊業者の中には、このような子羊を「はぐれ者」と呼ぶ人たちがいます。父がその子羊をわたしにくれたので、わたしはその羊飼いになりました。

数週間、わたしは牛乳を哺乳瓶に入れて温め、それを子羊に飲ませました。わたしたちはすぐに仲良くなりました。わたしは子羊を「ナイ」と名付けました。どうしてそう名付けたのか、今は覚えていません。子羊は大きくなり始め、わたしたちは一緒によく芝生の上で遊びました。ときどき、わたしと一緒に草の上に寝そべり、子羊の柔らかい、ふさふさとした横腹に頭



を載せて、青空や白い積乱雲を見上げたものです。わたしは日中、子羊の柵に鍵は掛けませんでした。逃げ出すことはなかったのです。子羊は間もなく草を食べるようになりました。「メー、メー」という羊の鳴き声をできるだけまねて呼ぶだけで、わたしは庭のどこからでも子羊を呼び寄せることができました。

ある晩、ひどい嵐になりました。わたしは子羊を小屋に入れなければならないのに、その晩はそれを忘れて、寝てしまいました。わたしの小さな友である子羊は嵐におびえ、その鳴き声が聞こえてきました。わたしは自分のベットを助けなければならないことが分かっているながらも、体をぬらさずに安全で温かいベッドの中にいたかったのです。わたしは起きなければならないのに、起きませんでした。翌朝、外に出てみると、子羊は死んでい

ました。子羊の鳴き声を聞きつけた犬が殺してしまったのです。わたしは心が引き裂かれんばかりに悲しみました。わたしは、父から託された子羊の、良い羊飼い、すなわち良い管理人ではなかったのです。父は言いました。「息子よ、たった1頭の子羊の世話さえ、おまえには任せられないのかね。」父の言葉は、羊毛に包まれた友を失ったこと以上につらいものでした。その日、わたしは幼いながらも決心をしました。いつかもう一度同じ立場に置かれたならば、二度と羊飼いとしての自分の管理の責任をおろそかにはしないと。……

60年以上たっても、あのときの子羊の鳴き声、おびえた叫び声が心によみがえってきます。そして、本来すべきだった羊飼いとしての務めを怠ったことを思い出します。また、「息子よ、たった1頭の子羊の世話さえ、おまえには任せられないのかね」という父の愛情に満ちた叱責も思い出します。この世で良い羊飼いでなかった人は、永遠の世界でどのような思いをするのでしょうか。■

ジェームズ・E・ファウスト「羊飼いの責任」『聖徒の道』1995年7月号、51・52より

洞 察



マダガスカルのアソア家は、彼らの住む人里離れた地域における開拓者です。

先祖に開拓者がいない場合はどうしたらよいですか。

「そのような教会初期の開拓者たちの信仰と勇気をわたしは愛し尊敬しています。わたしの先祖は当時海の向こうに住んでいました。わたしの先祖は誰一人、ノーブーやウィンタークォーターズに住むことも、平原を横断することはありませんでした。しかし、教会員としてわたしは、開拓者の遺産を自分のものとして感謝し、誇りに思っています。

同じように、教会の現代の開拓者の遺産も自分のものとして喜んでいきます。どの国の開拓者にも、忍耐と信仰と犠牲の物語があり、それらは、この神の王国の末日の賛美歌に、栄光に満ちた新しい節を付け加えています。」

今月号のその他の記事

ヤングアダルト

活気と活力 に満ちて

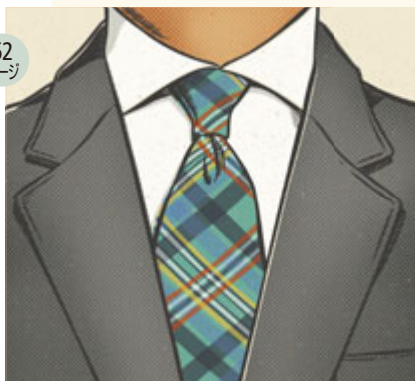
健康と活力と霊性を増進するための新しい習慣を
紹介します。



42
ページ

青少年

52
ページ



メルキゼデク神権を 受ける用意は できていますか

ここに掲載されている教会指導者の教えを学べば、神権の
誓詞と聖約の真の意味をよく理解できるでしょう。

子ども

アナの旅^{たび}

アナはアメリカで汽車をおりました。アナは一人ぼっちで、
アナの言葉が分かる人はだれもいません。でもそのとき、アナ
はお母さんの言葉を思い出します。「天のお父様はいつも
わたしたちの祈りを聞いて、分かってくさるのよ。」



66
ページ

末日聖徒
イエス・キリスト
教会



12567 300